

平成26年度（平成25年度対象）
西予市教育委員会の点検・評価報告書

平成26年12月
西予市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）の一部改正により、西予市教育委員会においても平成20年度から、教育長及び委員会事務局が執り行っている教育行政事務について自己点検及び評価を行うと共に、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図り、教育委員会の点検・評価報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが規定されています。

市教育委員会におきましては、毎年、「西予市教育基本方針」を策定し、教育目標を基本理念として先人の培ってきた伝統の上に立って、新しい文化の創造と発展に寄与する人間性豊かな市民の育成を目指して各種教育施策を展開しているところです。

今回の報告書は、同法の規定に基づき、市教育委員会の各担当部署が前年度に行った各種事業の内、98事業について点検・評価結果を取りまとめたものです。

申すまでもなく教育は、学校、行政だけで推進できるものではなく、保護者や地域の皆様のご理解とご支援が不可欠であり、そのためには、情報と課題を共有する仕組みが大切です。

そこで、学校教育と社会教育の様々な取り組みを市民の皆様にご覧いただき、現状と課題を共有できることを願って、広報「せいよ」やホームページ等の方法によって広く教育活動をお知らせしているところですが、前年度同様、今年度の点検・評価結果を市民の皆様にご覧いただき、広くご意見を賜ることによって、よりよい西予市の教育を実現してまいりたいと考えておりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成26年12月

西予市教育委員会

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I 平成25年度教育基本方針に基づく事務の管理及び執行状況の点検・評価

1	平成25年度西予市教育基本方針	1
2	平成25年度学校教育重点目標・社会教育重点目標	2
3	平成25年度教育委員会の状況	3
	(1) 委員選任状況	3
	(2) 会議開催状況	3
	(3) 委員会議以外の活動状況	4
	(4) 主な活動実績一覧	5～8
4	平成25年度西予市一般会計歳出決算における教育予算の状況	9～11
5	24年度事業に対する学識経験者の意見および25年度事業の取組結果	12
6	教育費関係の実施事業の評価（一般会計）	13
	【1項】教育総務費	
	(1目) 教育委員会費	
	教育委員会運営事業	13
	(2目) 事務局費	
	市教育研究大会実施事業	14
	生徒国際交流事業	15～16
	電話教育相談員設置事業	17
	学校再編推進事業	18～19
	(3目) 語学指導外国青年招致事業費	
	語学指導外国青年招致事業	20
	(4目) 教員住宅管理費	
	教員住宅維持管理事業	21
	(5目：少年自然の家管理費【平成18年度廃目】)	
	(6目) 諸費	
	学校安全体制整備推進事業	22
	私立幼稚園就園奨励補助金事業	22
	(7目) スクールバス管理費	
	スクールバス維持管理事業	23～24

【2項】小学校費

(1目) 学校管理費

小学校施設修繕事業	25
児童・職員各種健康管理委託事業	26

(2目) 教育振興費

小学校生活支援員設置事業	27
小学校各種大会出場補助事業	27
小学校情報教育振興事業	28
小学校義務教育教材購入事業	29
小学校教育相談員設置事業	29
児童遠距離通学費補助事業	30
小学校自然教室等教育費補助事業	30
小学校振興事業	31

(3目) 学校建設費

小学校施設整備事業（繰越含む）	31
三瓶小学校校舎新築事業（繰越含む）	32
野村小学校南校舎改築事業	33
明浜地区小学校統合校舎建設事業	34
野村小学校施設整備事業	35

【3項】中学校費

(1目) 学校管理費

生徒・職員各種健康管理委託事業	36
野村中寄宿舎維持管理事業	37

(2目) 教育振興費

中学校生活支援員設置事業	37
中学校情報教育振興事業	38
中学校義務教育教材購入事業	38
中学校教育相談員設置事業	39
中学校各種大会出場補助事業	39
中学校自然教室等教育費補助事業	40
生徒遠距離通学費補助事業	40
ヘルメット購入補助事業	41
中学校振興事業	41

(3目) 学校建設費

中学校施設整備事業	41
-----------	----

【4項】幼稚園費

(1目) 幼稚園費

園児・職員各種健康管理委託事業	42
公立幼稚園維持管理事業	42

【5項】	社会教育費	
(1目)	社会教育総務費	
	社会教育委員会事業	43
	成人式開催事業	44
	社会教育団体育成事業	45
	放課後子どもプラン事業	46
	家庭教育支援事業	47
	市誌編纂・発行事業	48
(2目)	公民館費	
	公民館運営事業（宇和）	49
	公民館運営事業（明浜）	50
	公民館運営事業（野村）	51
	公民館運営事業（城川）	52
	公民館運営事業（三瓶）	53
	西予市結婚推進委員会補助事業	54
(3目)	図書館費	
	図書館管理運営事業	55
	図書館庶務事業	55
	図書館電算システム事業	55
(4目)	社会教育施設運営管理費	
	総合センターしろかわ維持管理事業	56
(5目)	人権教育費	
	地区別人権・同和教育懇談会事業	57
	人権のつどい事業	58
	愛媛県人権教育協議会西予支部補助事業	59
(6目)	青少年育成費	
	市青少年補導員活動事業	60
	青少年補導センター運営事業	60
	市青少年健全育成事業	60
	人づくりを考える集い開催事業	60
(7目)	社会教育施設建設費	
	野村地域教育福祉複合施設建設事業	61
【6項】	文化振興費	
(1目)	文化振興総務費	
	文化協会補助事業	62
	宮中雲子音楽祭補助事業	63
(2目)	文化財保護費	
	文化財保護審議会事業	64
	文化財保護推進事業	65～66
	俵津文楽育成事業	67

民俗文化財保存事業（茶堂）	68
朝日文楽保存伝承活動事業	69
埋蔵文化財発掘調査事業	70
古代ロマンの里推進事業	71
(3目) 文化施設運営管理費	
宇和文化会館管理運営事業	72
全国かまぼこ板の絵展覧会事業	73
三瓶文化会館管理運営事業	74
(4目) 町並み保存対策費（産業建設部へ事務の補助執行）	
(5目) 文化の里振興費（産業建設部へ事務の補助執行）	
開智・開明学校姉妹館交流青少年派遣事業	75
(6目) 国際交流費【平成16年度廃目】	
(7目) 文化振興施設建設費	
朝日文楽会館建設事業	76
【7項】 保健体育費	
(1目) 保健体育総務費	
宇和文化の里駅伝競走大会開催事業	77
スポーツ教室開催事業	78
全国大会出場選手支援事業	79
スポーツ立市振興計画管理事業	79
朝霧湖マラソン大会支援事業	80
城川オリンピック開催事業	81
総合スポーツクラブ補助事業	82
(2目) 体育施設費	
宇和運動公園管理運営事業	83
野村運動公園管理運営事業	84
城川総合運動公園管理運営事業	85
三瓶体育館管理運営事業	86
乙亥会館管理運営事業	87
(3目) 給食センター運営費	
宇和学校給食センター運営事業	88
三瓶学校給食センター運営事業	89
(4目) 学校給食費	
明浜学校給食運営事業（俵津小・狩江小・明浜中）	90
小学校給食運営事業	90
中学校給食運営事業	90
(5目) 国民体育大会費	
愛媛国体相撲強化支援事業	91
愛媛国体施設整備事業	92
愛媛国体競技役員等養成事業	93

- 7 教育費関係の実施事業の評価（西予市育英会奨学資金貸付特別計）・・・94
 - 西予市育英会奨学資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・94

II 学識経験者の意見（今後の取組の方向性）

- 1 学識経験者の意見及び今後の取組の方向性・・・・・・・・・・・・95～99

I 平成25年度教育基本方針に基づく事務の管理及び執行状況の点検・評価

1 平成25年度 西予市教育基本方針

西予市教育委員会は、「高い知性と誠実で豊かな人間性をもち、健康でたくましく生き、社会に貢献できる西予市民を育成する」ために、次の項目を基本方針として、学校教育及び社会教育を推進します。

- (1) 教職員の資質・指導力の向上を図り、安全で安心な教育環境の中で、子どもたちが学習意欲を高め、基礎・基本を踏まえた学習に取り組むことにより、豊かな人間性や自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむ学校教育を推進します。
- (2) 互いの人権が尊重される社会づくりを目指すための人権・同和教育を推進するとともに、障がいのある子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育への取り組みを進めます。
- (3) 生涯の支えとなる強い意志とたくましい体力を育てるための健康教育を推進するとともに、愛媛国体開催（平成29年）を見据え、西予市スポーツ振興計画に基づき「スポーツ立市」の実現に取り組みます。
- (4) 多様な学習機会の創出と提供による生涯学習の推進と、高度情報通信社会に対応できる人づくりを目指します。
- (5) 家庭や地域の教育力の向上を図るとともに、学校、家庭、地域が連携・協働して、次代を担う子どもたちの健やかな成長をはぐくむよう支援します。
- (6) 特色ある西予市の自然や文化に誇りを持ち、これらを守り育てる態度を育てるとともに、新しい文化の創造に寄与する市民を育成して文化の薫り漂う町づくりに努めます。
- (7) 少子社会の進む中で、子ども一人一人を地域の宝として、その健やかな成長を願い、人間形成の基礎を培う幼児教育を推進します。

2 平成25年度学校教育重点目標・社会教育重点目標

〔学 校 教 育〕

学校・家庭・地域社会が連携し、「特色ある教育と安全で信頼される学校経営」を展開し、「生きる力」をはぐくむ教育を推進するため、西予市教育基本方針に則り、次のとおり重点目標及び努力目標を定めます。

重点目標及び努力目標

- (1) 教職員の資質・指導力の向上
- (2) 創意あふれる教育の推進
- (3) 人権・同和教育の推進
- (4) 特別支援教育の推進
- (5) 健康安全教育の推進
- (6) 青少年の健全育成
- (7) 評価の充実
- (8) 人間性の基礎を育てる幼児教育の充実
- (9) 西予市だからこそ推進したい教育の展開

〔社 会 教 育〕

西予市教育基本方針に基づき、家庭・地域・学校・行政が、幅広い視野でそれぞれの役割の明確化と協働を図りつつ、市民一人一人が自発的に学習し、学んだ成果を社会に還元できる「生涯学習社会の構築」と「魅力ある地域づくり」を実現させるため、次のとおり重点目標を定めます。

重 点 目 標

- (1) 生涯学習社会の充実に向けた条件の整備
- (2) 生涯学習活動の場と機会の拡充
- (3) 地域ぐるみで取り組む青少年の健全育成の推進
- (4) すべての市民が取り組む、人権・同和教育の推進
- (5) 生涯スポーツの振興と健康教育の推進
- (6) 地域文化の保存活用と次世代を担う人材の育成
- (7) 男女共同参画による住みよいまちづくりの推進
- (8) 西予市だからこそ推進したい教育の展開

3 平成25年度教育委員会の状況

(1) 委員選任状況

平成25年6月10日現在

職	氏名	性別	職業	委員任期	委員通算 在任年数	役職任期・ 通算在任年 数	常勤・非 常勤の別
委員長	門脇 正人	男	無職	H22.6.10 H26.6.9	3	1	非常勤
職務代理者 委員長	堀田 利知	男	無職	H23.6.10 H27.6.9	2	0	非常勤
委員	熊谷 マユミ	女	会社員	H24.6.10 H28.6.9	1	0	非常勤
委員	平岡 長治	男	無職	H25.6.10 H29.6.9	0	0	非常勤
教育長 委員(兼)	宇都宮 又重	男	地方公務員	H24.6.10 H28.6.9	1	0	常勤

※教育委員及び教育長の任期は4年間。

※教育委員長及び教育委員長職務代理者の任期は1年

(2) 会議開催状況

①会議開催数・付議案件数

定例会	12回
臨時会	2回
議案	46件

②会議に付された主な案件

- ・要保護・準要保護児童生徒の認定について
- ・西予市公民館長の任命について
- ・各種委員の委嘱について
- ・西予市教育基本方針の制定について
- ・西予市教育振興基本計画の認定について

- ・西予市指定文化財の指定について
- ・西予市民図書館システム選定委員会設置要綱の制定について
- ・西予市市誌編纂委員会設置要綱の制定について
- ・西予市学校生活支援員設置要領の一部を改正する訓令の制定について
- ・西予市児童生徒表彰の承認について
- ・独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金に関する規則制定について
- ・平成25年度西予市教育委員会点検・評価報告書の承認について
- ※その他、市議会に付議する案件（予算、条例等）や教育委員会規則等の制定・改廃などが会議に付された。

③教育委員会会議の公開

西予市教育委員会傍聴人規則の規定に基づき、会議は教育委員長の許可を得て傍聴できます。

【平成25年度】 傍聴人 3人

(3) 教育委員会議以外の活動状況

教育委員は、教育委員会議への出席以外に、学校訪問、学校再編計画の地域別説明会や再編推進委員会など各種行事等へ参加しました。（詳細は主な活動実績一覧を参照）

①市議会関係・・・定例市議会（4回）・臨時市議会（1回）

②学校訪問・・・小学校（26校）・中学校（5校）

③各種行事・大会（128回）

④その他の行事（42回）

(4) 主な活動実績一覧

月	教育委員会関係	市議会関係	各種行事・大会	学校訪問	その他
4	定例(1)		<ul style="list-style-type: none"> ・西予市新任式 ・市内小学校入学式 ・市内中学校入学式 ・県立高等学校入学式 ・西予市連合婦人会総会 ・西予市校長会・教頭会研修会 ・西予市所属部会総会 ・教育事務所管内校長研修会 ・西予市校長・体育主任合同研修会 ・愛媛県植樹祭 ・県人権教育協議会西予支部定期総会 ・西予市公民館連絡協議会総会 ・西予市育英会理事会 ・八幡浜地区租税教育推進協議会定期総会 ・野村地区小学校再編推進委員会 		<ul style="list-style-type: none"> ・れんげ祭り ・交通安全街頭指導
5	定例(1)	臨時議会(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・県市町教育委員会連合会理事会 ・県人権教育協議会定期総会 ・四国都市教育長連絡協議会総会 ・西予市PTA連合会総会 ・県内教育長、教育事務所長会議 ・臨時西予市校長会研修会 ・西予市結婚推進委員会総会 ・市内小学校運動会(三瓶・宇和町・野村) ・宇和特別支援学校運動会 ・明浜地区小学校再編推進委員会 ・国体準備委員会発起人会 ・「えひめ教育の日」推進会議定期総会 ・愛媛県市町教育委員会教育長会議 ・公立中学校寄宿舎運営連絡協議会定期総会 	学校訪問(5月、6月、7月)間に市内全ての小中学校を訪問(指導) ○小学校 26校 ○中学校 5校	<ul style="list-style-type: none"> ・第22回朝霧湖マラソン大会 ・定例記者会見 ・宇和郷土文化保存会総会 ・北海道黒松内町修学旅行訪問団来訪 ・部長会

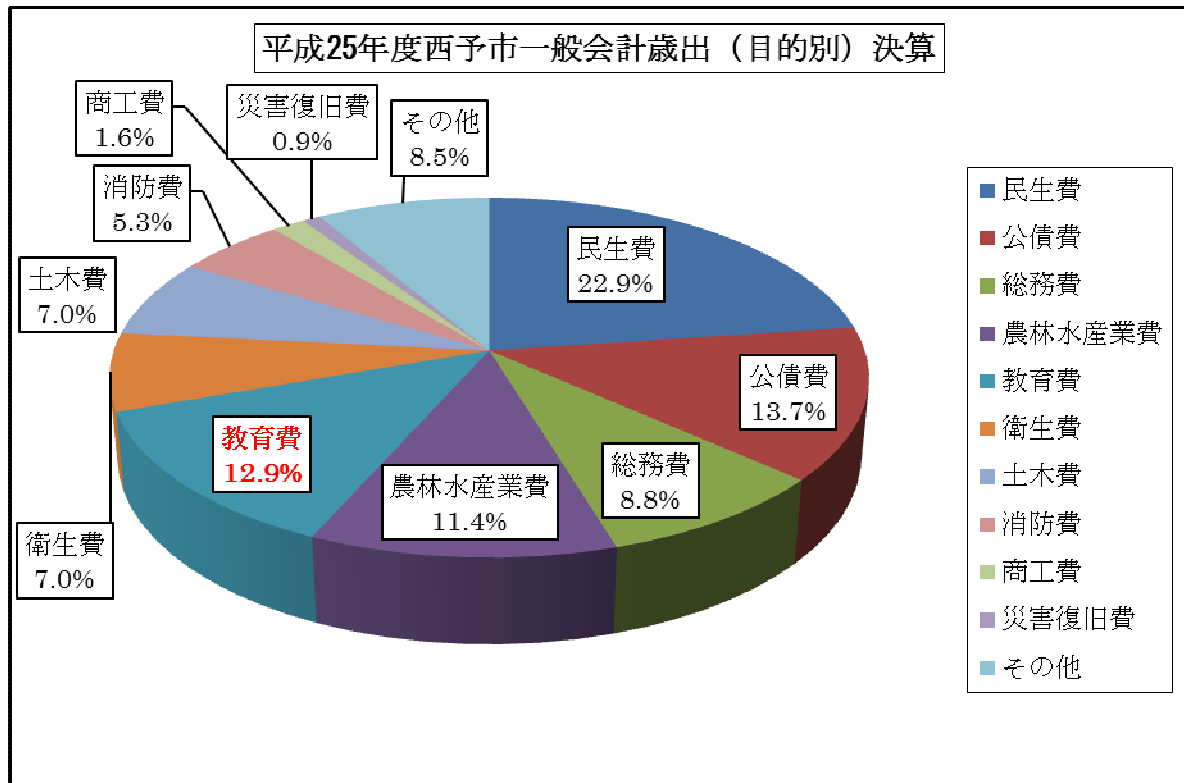
5			・管内市町教育委員会連合会総会		
6	臨時（１） 定例（１）	定例議会 （１） 総務常任 委員会	・人権対策協議会西予連合会総会 ・西予市中学校総合体育大会 ・西予市スポーツ推進委員総会 ・西予市体育協会総会 ・西予市社会教育委員会 ・西予市市中学校陸上、水泳大会 ・明浜地区小学校再編推進委員会 統合調印式 ・西予市就学指導委員会 ・西予市校長会研修会 ・国公立幼稚園教育研究協議会南 予支部研究会	学校訪問（５ 月、６月、７月） 間に市内全て の小中学校を 訪問（指導）	・南予地区剣道大会 ・琴絹の会コンサート ・歴史文化博物館友の 会理事会、総会 ・三瓶高校活性化検討 委員会 ・西予市連合婦人会レ クバレー大会
7	定例（１）		・西予市文化財保護審議委員会 ・西予市要保護児童対策地域協議 会 ・県教育委員会連合会定期総会 ・西予地区防犯協会理事会・総会 ・各支部小学校水泳競技大会 ・熊本県知事講演会 ・教育委員会と市長部局との意見 交換会 ・行政連絡員協議会代表者会議 ・西予市幼年教育研修会	学校訪問（５ 月、６月、７月） 間に市内全て の小中学校を 訪問（指導）	・「社会を明るくする運 動」西予地区出発式 ・西予市職員採用試験
8	定例（１）		・野村地区小学校再編推進委員会 ・松本市中学生交流事業歓迎式典 ・西予市教育懇談会 ・西予市生徒海外派遣事業（ニュ ージーランド）結団式・解団式 ・旧開智・開明学校姉妹館交流青 少年派遣事業（出発式・解団式） ・第10回西予市民体育祭 ・国体西予市準備委員会設立総会 ・トップと語る会 ・西予市教頭会研修会 ・野村地区小学校再編推進委員会 統合調印式 ・西予市校長会研修会		・三瓶教育を語る会 ・南予少年剣道錬成大 会 ・定例記者会見 ・部長会

9	定例（１）	定例議会 （１） 総務常任 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・県立高等学校体育祭 ・市内中学校運動会 ・市内小学校運動会 ・西予市ジオパーク認定セレモニー ・西予市青少年育成協議会定例協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・西予市職員採用選考会 ・全国交通安全街頭指導 ・県警音楽隊「ふれあいコンサート」
10	定例（１）		<ul style="list-style-type: none"> ・西予市中学校新人体育大会 ・西予市人権を考える集い ・各支部小学校陸上記録会 ・三瓶地区小学校再編推進委員会 ・城川オリンピック ・西予市小学校陸上競技大会 ・西予地区非行防止対策協議会総会 ・南予地区人権・同和対策協議会 ・西予市教育研究大会 ・おイネ賞表彰式、シンポジウム ・県私立幼稚園教育研究大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・西予市国際交流の夕べ ・西予市職員採用候補者面接試験 ・部長会
11	定例（１）		<ul style="list-style-type: none"> ・「えひめ教育の日」推進大会 ・防災教育推進連絡協議会 ・第16回宮中雲子音楽祭 ・教育委員会委員研修会 ・西予市社会福祉大会 ・乙亥大相撲 ・支部小中学校音楽発表会 ・西予市へき地教育研究大会 ・三瓶高校活性化推進連絡協議会 ・団体代表者連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・26年度大型・突発予算協議 ・乙亥大相撲 ・西予市組織機構検討委員会 ・部長会
12	定例（１）	定例議会 （１） 総務常任 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・宇和文化の里中高齢者・女子駅伝競走大会 ・コオーディネーショントレーニング ・野村地区小学校再編推進委員会 ・第10回西予市駅伝競走大会 ・西予市ジオパーク認定記念シンポジウム ・西予市校長会研修会 ・高齢者叙勲伝達式 	<ul style="list-style-type: none"> ・野村高校農業クラブ祝賀会 ・仕事納め式

1	定例（１）		<ul style="list-style-type: none"> ・西予市成人式 ・西予市校長面談 ・南予管内教育長会議 ・三瓶地区小学校再編推進委員会 ・明浜地区統合小学校舎起工式 ・南予管内市町教育委員会連合会教育長会 ・西予市各町駅伝大会（明浜・野村・城川・三瓶） ・西予市婦人大会 ・西予市教頭会研修会 		<ul style="list-style-type: none"> ・仕事始め式 ・宇和郷土文化保存会新年会 ・緊急部長会 ・西予市組織機構検討委員会
2	定例（１）		<ul style="list-style-type: none"> ・市立野村小学校南校舎改築起工式 ・西予市校長会研修会 ・西予市小中学校長会研修会 ・西予市青少年育成協議会定例委員会 ・国体常任委員会 ・県公立小中学校寄宿舎運営連絡協議会 ・行政評価総括会議 ・西予市教育振興基本計画策定検討委員会 ・西予市学校体育会理事会 		<ul style="list-style-type: none"> ・西予市消防出初式 ・定例記者会見 ・部長会 ・レインボー合唱祭 ・西予市職員採用選考会 ・宇和地区女性の集い
3	臨時（１） 定例（１）	定例議会（１） 厚生常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・県立高等学校卒業式 ・県立特別支援学校（聴覚）卒業式 ・市内中学校卒業式 ・市内小学校卒業式 ・市内公立幼稚園卒園式 ・西予市社会教育委員会 ・三瓶地区小学校再編推進委員会 ・市立新三瓶小学校落成式 ・市立二木生小学校、蔵貫小学校閉校式 ・市立周木小学校閉校式 ・市立三瓶小学校閉校式 ・青年団知事表彰伝達式 		<ul style="list-style-type: none"> ・「自然との対話」写真展シブション ・宇和文化会館理事会
合計	臨時（２） 定例（１２）	臨時（１） 定例（４）	128回	小学校（２６） 中学校（５）	42回

4 平成25年度西予市一般会計歳出決算における教育予算の状況

(図-1)



【平成25年度歳出決算の目的別集計】 (表-1)

単位：千円

民生費	6,214,552	22.9%
公債費	3,708,938	13.7%
総務費	2,379,054	8.8%
農林水産業費	3,082,481	11.4%
教育費	3,512,882	12.9%
衛生費	1,897,183	7.0%
土木費	1,902,308	7.0%
消防費	1,452,345	5.3%
商工費	440,907	1.6%
災害復旧費	240,467	0.9%
その他	2,320,419	8.5%
合計	27,151,536	100.0%

単位：千円

その他の内訳	2,320,419	8.5%
諸支出金	1,620,768	5.9%
議会費	205,193	0.8%
労働費	494,458	1.8%
予備費	0	0.0%

平成25年度西予市一般会計歳出決算における教育費は図-1、表-1、表-2、図-2のとおり 3,512,882 千円（一般会計に占める教育費の割合は 12.9%）で平成24年度 2,466,908 千円（同じく割合は 10.5%）と比較すると 1,045,974 千円（2.4%増）の伸びとなった。

歳出決算額の推移は表-2、図-2のとおり、教育費は安定的に予算を確保しているとともに、特に平成25年度は、西予市小学校再編計画に基づき再編を推進し望ましい教育環境の実

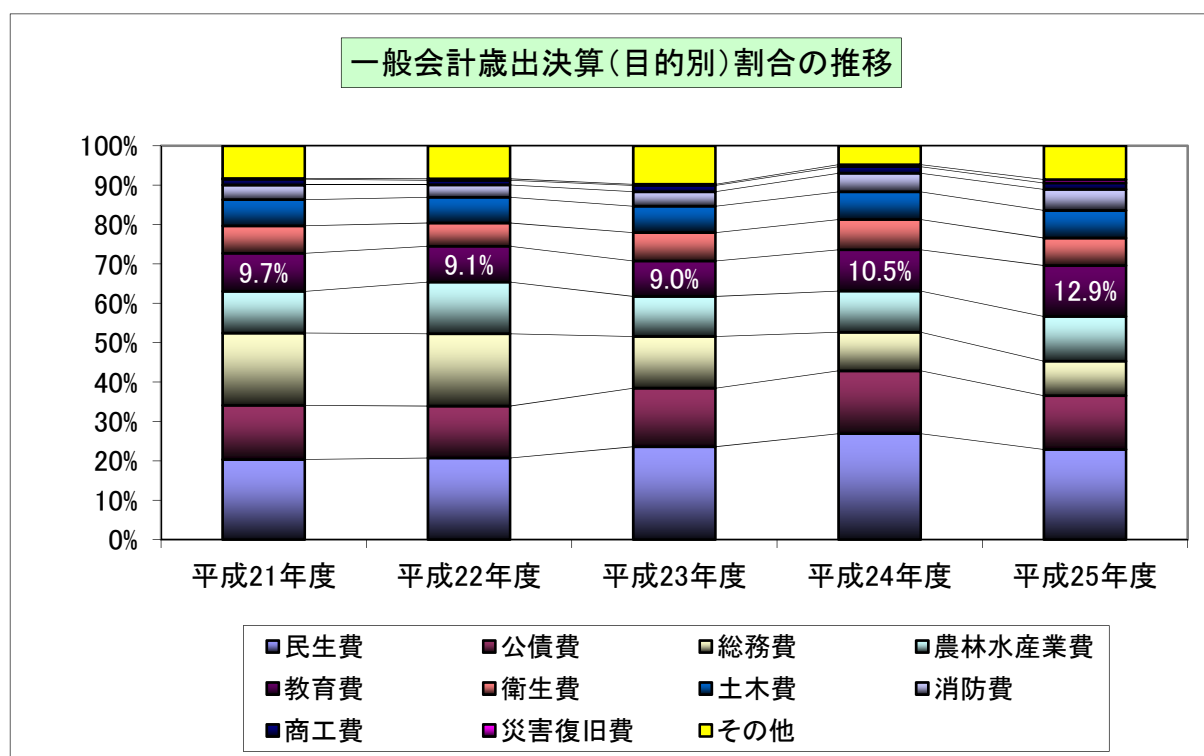
現化を図るため、学校建設等の大型事業を実施し歳出規模が大幅な増となった。

【西予市一般会計歳出決算額（目的別）の推移】（表－２）

単位：千円

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
民生費	5,789,601	6,213,624	6,159,943	6,336,843	6,214,552
公債費	3,910,101	3,950,735	3,882,823	3,757,100	3,708,938
総務費	5,224,037	5,503,982	3,429,031	2,306,730	2,379,054
農林水産業費	3,012,776	3,933,487	2,656,631	2,466,551	3,082,481
教育費	2,749,103	2,727,323	2,349,488	2,466,908	3,512,882
衛生費	1,983,609	1,772,072	1,884,096	1,807,846	1,897,183
土木費	1,893,164	1,957,034	1,751,498	1,659,843	1,902,308
消防費	1,057,868	939,608	957,686	1,109,011	1,452,345
商工費	414,724	347,126	421,900	393,964	440,907
災害復旧費	60,967	118,654	72,823	122,330	240,467
その他	2,352,942	2,508,845	2,549,718	1,123,125	2,320,419
合計	28,448,892	29,972,490	26,115,637	23,550,251	27,151,536

(図－２)



教育費における項別決算額の推移は表－３、図－３のとおり、特に小学校費は小学校校舎整備工事費により大幅に増加した。

項別の主な事業内容は、1項教育総務費では教育委員会事務局運営事業 11,534 千円、生徒国際交流事業 10,016 千円、語学指導外国青年招致事業 22,385 千円、2項小学校費では三瓶小学校校舎新築事業 917,615 千円、野村小学校南校舎改築事業 35,173 千円、明浜地区統合校舎建設事業 118,096 千円、3項中学校費では、野村中寄宿舎維持管理事業 10,282 千円、中学校各種大会出場補助事業 9,702 千円、4項幼稚園費では、公立幼稚園維持管理事業 1,993 千円、幼稚園施設整備事業 1,422 千円、5項社会教育費では、市誌編纂・発刊事業 1,070 千円、図書館電算システム管理事業 11,656 千円、6項文化振興費では、民俗文化財保存事業（茶堂）1,623 千円、古代ロマンの里推進事業 2,484 千円、7項保健体育費では、全国大会出場選手支援事業 1,690 千円、宇和給食センター運営事業 35,840 千円などである。

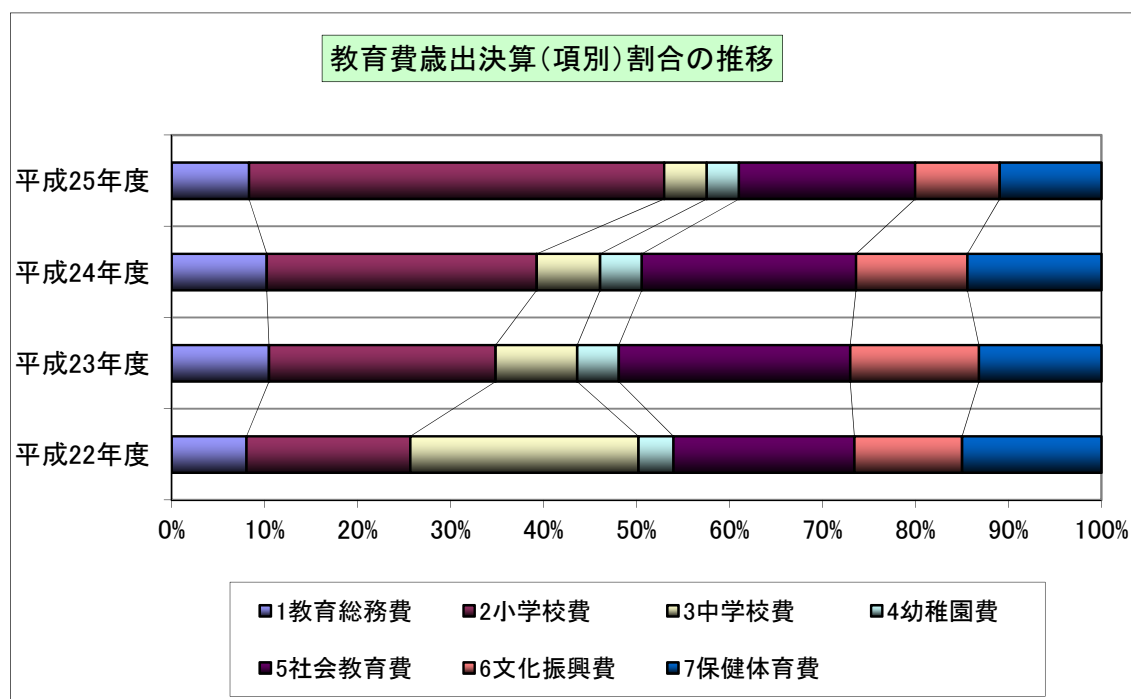
なお、翌年度への繰越事業費（131,012 千円）の主な内訳は、明浜地区小学校統合校舎建設事業 32,360 千円、宇和文化会館管理運営事業 45,990 千円、体育施設耐震化事業 23,448 千円などである。

【教育費項別年度別歳出決算額】（表－3）

単位：千円

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
教育総務費	219,613	245,881	252,277	292,394
小学校費	480,364	572,724	716,265	1,568,299
中学校費	669,304	206,143	168,265	160,959
幼稚園費	102,579	105,216	110,545	121,583
社会教育費	530,925	584,730	568,453	665,518
文化振興費	315,703	325,226	295,557	319,748
保健体育費	408,835	309,568	355,546	384,381
計	2,727,323	2,349,488	2,466,908	3,512,882

(図－3)



5 24年度事業に対する学識経験者の意見及び25年度事業の取組結果

意見項目	24年度事業の学識経験者の意見	平成25年度の取組の方向性	該当事業	25年度の自己評価	26年度の取組の方向性	担当課
1 学校教育支援体制の充実	教育支援については、多岐にわたり配慮がなされており、評価できる。今後とも、教育活動に必要な人的配置等、学習支援体制・英語教育・ICT活用など更なる充実に努められたい。	教育支援については、多岐の事業にわたりますが、児童生徒が安全安心して学校生活を送れるよう引き続き取り組まします。	・小学校生活支援員設置事業 ・中学校生活支援員設置事業 ・小中学校ICT環境整備事業	○ ○ ○	維持 維持 維持	学校教育課 教育総務課
2 学校再編の推進	児童生徒がよりよい環境で教育を受けることが出来るよう推進されており、評価できる。引き続き理解を深めていただくため保護者、地域住民、PTA等に充分、説明・協議に努められたい。	再編の推進については、保護者、地域住民、PTA等との説明・協議が重要であり、行政内部の関係課とも充分な連携を図り、計画に沿った取組に努めます。	・学校再編推進事業	△	維持	教育総務課
3 学校施設の整備	建築後相当年月が経過し、老朽化が顕著であることは十分理解できる。安心・安全な学校施設として、災害時の緊急避難場所としても機能できるよう、計画的な整備を推進されたい。また、統合に係る校舎建設について、建設事業を円滑に推進できるよう努められたい。	学校統合時期にあった建設を進めており、バリアフリー化等児童生徒の安全を第一とした建設事業を進めます。	・三瓶地区統合校舎建設事業	○	完了	教育総務課
4 給食業務	健康の源である学校給食の提供や、地産地消の日と定めた食育の推進に一定の評価ができる。今後とも学校給食の充実における使用食材の安全確保及び食育推進をはじめ、給食センター・給食調理場の円滑な運営と安全な学校給食の提供・施設の充実に一層努められたい。宇和給食センターが老朽化している。昔から建設の話がありながら延び延びとなっている。学校再編も目途が付くようなので、安全な給食を提供するため具体的に給食センター建設に努められたい。	適切な衛生管理のもと、栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供し、食に対する正しい理解や地産産物の活用を推進いたします。また、学校再編計画に沿った新たな給食施設の建設を進めます。	・学校給食センター建設事業	27年度(26年度実施)にて作成する。		教育総務課
5 生涯学習の充実	現体制での学習機会の提供や団体活動支援等については、一定の評価ができる。市民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、今後も継続的な学習機会の提供や活動支援に努められたい。また、団体の自主運営を促し、自立した組織となるよう一層努められたい。	市民の豊かなライフステージの支援を行うとともに、地域リーダーの育成にも力を注いでいきます。また、マンネリ化を脱却するとともに、新しい講座の開拓にも努めていきます。	・社会教育団体育成事業	○	維持	生涯学習課
6 公民館事業の充実	各地域における社会教育・生涯学習の活動拠点であり、それぞれの特色ある取組を評価できる。地域ニーズにあった取組を推進するとともに、地域コミュニティ形成への積極的な参画など、一般行政部局と連携して、住民と行政が協働して進める「地域づくり」の推進や支援の充実に努められたい。小学校統合後、地域の活動拠点である公民館活動の推進を引き続き努められたい。	各地域の活動拠点として、また、よりどころとしての機能を充実させるとともに、地域住民一人一人が公民館事業に参画し、誰もが主役となれるような支援体制の構築を進めます。	・各地区公民館運営事業	○	向上	生涯学習課
7 図書館の充実	読書活動の推進・図書利用カードの普及によって、利用率が高まっている。今後市民の日常生活に役立ち、親しみやすく明るく頼りがいのある図書館となるよう、図書の充実やレファレンスサービスに努め、読書人口の増加に一層努められたい。	市民の要望にあった図書館資料を提供できるよう、また、市民に親しまれ暮らしに役立つような図書づくりを推進するとともに、読書活動推進・図書利用カードの普及啓発に努めます。	・図書館電算システム管理事業	○	維持	生涯学習課
8 文化遺産の保存・活用	文化遺産の保存・活用、さらに文化財保護思想の普及・啓発について、今後とも後世に残す意味でも重要であることから引き続き努力されたい。	古代ロマンの里構想を軸とし、笠置峠古墳を代表する古墳群の活用、出土資料や調査成果の展示公開を積極的に進め、住民参加型の文化財の保護、活用に取り組まします。	・古代ロマンの里推進事業	○	向上	文化体育振興課
9 スポーツ活動の推進	健康づくりと生涯スポーツの普及を目指して、積極的に推進していく必要がある。各種スポーツイベントを積極的に支援し、今後ともスポーツ活動の推進に努められたい。	西予市体育協会やスポーツ推進委員協議会との連携を通して、健康づくりや生涯スポーツの推進に努めます。また、国体PR事業として年3回コオーディネーショントレーニング教室(スポーツ教室)を開催しており、この事業を軸としたスポーツイベント・活動の推進を更に進めます。	・スポーツ立市振興計画管理事業	○	維持	文化体育振興課

(取組状況:評価項目)

【自己評価】 ○:計画通りに取組ができた △:計画通りには取組ができなかったが、一定の成果があった ×:計画通りに取組ができなかった

【成果の方向性】 向上:事業内容を拡充して、成果の向上を図る 維持:前年度と同規模で事業を実施し、維持させる 縮小:計画の見直しや手法を改善により、内容を縮小して実施する 完了:事業の目的を達成したため、事業を終了する

6 教育費関係の実施事業の評価（一般会計）

西予市の教育は、「高い知性と誠実で豊かな人間性を持ち、健康でたくましく生き、社会に貢献できる西予市民を育成する」ことを基本方針として、学校教育においては、学校・家庭・地域社会が連携し、「特色ある教育と安全で信頼される学校経営」を展開し、「生きる力」をはぐくむ教育の推進に努めた。また、家庭・地域・学校・行政が、幅広い視野でそれぞれの役割の明確化と協働を図りつつ、市民一人一人が自発的に学習し、学んだ成果を社会に還元できる「生涯学習社会の構築」と「魅力ある地域づくり」を実現するため、各種施策の積極的な推進に努めた。

(1項) 教育総務費

学習指導要領に基づき、学校・家庭・地域社会が連携し、「特色ある教育と安全で信頼される学校経営」を展開し、「生きる力」をはぐくむ教育の推進に努めた。

○教育総務費の主な事業

平成25年度決算(単位:千円)

事業名	教育委員会運営事業			所管課	教育総務課		
				費目	教育委員会費		
事業費	3,716	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							3,716
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】</p> <p>国際化・情報化をはじめ社会の急激な変化や学校の小規模化による教育環境の著しい変化に伴い、教育委員会のあり方が問われる中、本市教育委員会においては、毎月教育委員会議を開催し、事務局と連携しながら真剣な議論によって施策を推進した。また、現場の意見に基づいた議論を行うために、市内すべての学校訪問や他市町との意見交換に努めた。さらに、市長部局との意見交換会を開催した。</p> <p>○教育委員会議の開催状況</p> <p>教育委員会議については、毎月「定例教育委員会」12回を開催した。その他必要に応じ「臨時教育委員会」を2回開催した。</p> <p>○教育委員会議での審議状況</p> <p>「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「西予市教育委員会会議規則」に基づき、平成25年度は、議案合計46件について審議した。</p> <p>【成果】</p> <p>教育委員会議については、定例会や臨時会を開催し円滑な会議運営を図った。また、小学校再編に向けて積極的な活動を展開した結果、6月25日に「明浜地区小学校再編推進委員会統合調印式」、8月29日に「野村地区小学校再編推進委員会統合調印式」を実施した。平成26年3月31日に三瓶町周木・二木生・蔵貫小学校が閉校して新三瓶小学校に統合した。</p> <p>【課題】</p> <p>他地区においても学校再編計画に基づき、保護者・地域住民との協議を充分に行い、ある程度（過半数以上）の賛同を得た上で、学校再編推進委員会を設置して、合意を得るよう進めて行く。</p>						

事業名	市教育研究大会実施事業			所管課	学校教育課		
				費目	事務局費		
事業費	96	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							96
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>平成25年10月29日、「豊かな心をもち、自ら学びたくましく生きる西予の子の育成」を研究主題とし、教職員、ALT、生活支援員の合計386人の参加のもと、三瓶支部小・中学校を会場として開催した。昨年に引き続き授業改善を中心とした半日の研修を実施した。</p>						
	(公開授業)						
	教科等		学年		会場		
	国語		5年		二木生小学校		
	社会		3年		二木生小学校		
	算数		6年		三瓶小学校		
	理科		3年		三瓶小学校		
	生活		1年		三瓶小学校		
	音楽		1年		三瓶中学校		
	美術		1年		二木生小学校		
	体育		3年		三瓶中学校		
	技術・家庭		5年		三瓶小学校		
	英語・外国語活動		2年		三瓶小学校		
	特別活動		6年		周木小学校		
	総合的な学習の時間		5・6年		蔵貫小学校		
特別支援教育		梅組(3年)		三瓶小学校			
(分科会)							
 <p>生活の授業</p>				 <p>英語の授業</p>			
<p>【成果】</p> <p>授業参観や分科会を通して研修や情報交換を行うことにより、教職員の資質・能力の向上の一助となり、授業改善や学校経営に生かすことができた。また、幼稚園からの参加もあり、異校種間の交流の一つの良い場ともなった。</p>							
<p>【課題】</p> <p>小学校統合に伴い、開催方法等について教育推進の会で協議・検討を行った。その結果、26年度は明浜支部で実施し、27年度以降については引き続き協議していくことにした。内容は、現在の半日開催を踏襲する予定である。</p>							

事業名	生徒国際交流事業			所管課	教育総務課		
				費目	事務局費		
事業費	10,016	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
						2,850	7,166
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>国際化の進む現代において、語学の習得は不可欠であり、世界中の様々な言語の中でも、共通語的な役割を果たす英語を習得するために、これからの西予市を担う少年たちを海外に派遣し、英語圏の国での研修を行うことで世界に通用する英語力の基礎を習得し、国際感覚を養い、国際化時代にふさわしい人材を育成する。また、異国の歴史や文化、経済、生活習慣等を肌で感受させ、視野を広め、異文化を尊重する態度や異なる文化を持った人々と共に生きていく資質や能力を育成する。</p> <p>平成25年度においては、市内の中学生徒19人を選考し（作文・面接等で意欲を確認）、夏休み期間中にニュージーランドへ派遣した。</p> <p>○生徒派遣事業（8/5～8/16）市内中学3年生を対象</p> <p>11泊12日の行程でホームステイをしながら、現地の語学学校や男女共学校に短期入学し、英会話、異国の文化、歴史、経済、生活習慣および国民性の違いを肌で感受する。また、平成22年度に西予市を訪問、ホームステイの受入を実施したタラデールハイスクールを平成23年度に続き再び訪問し、相互間の交流を更に深めることができた。</p> <p>【成果】</p> <p>参加者の選考（作文・面接等）で参加意識を向上させることができ、2回の事前説明会、3回の事前研修などにより派遣研修までの事前の仲間づくりや予備知識、研修目的などの徹底が図られ、現地ではきめ細かい研修プログラムにより、充実した研修となった。また、研修前後では、明らかに生徒の様子も自己表現力や協調性、英語力の面で向上が見られた。そのことは研修後の感想文からもうかがえた。</p> <p>これらにより、国際感覚と広い視野を持った西予市の次代を担う人材（リーダー）が育つことが期待される。</p> <p>【課題】</p> <p>質の高い事業の実施には、自意識の高い生徒を派遣する必要があるが、参加人数が限られていることから、「一部の子どもたちだけ」という意見もあるため、自己負担金等の見直しや選考基準等、特定の家庭の子どもに参加が偏らないよう、工夫が必要となる。</p>						



ホストファミリーの出迎え（ニュージーランドネイピア市）



タラデールハイスクールの中庭にて（ニュージーランドネイピア市）

事業名	電話教育相談員設置事業			所管課	教育総務課		
				費目	事務局費		
事業費	618	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							618
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>市内小中学校の児童生徒、また、その保護者を対象として、いじめや校内での悩み・トラブルについての相談を行う。</p> <p>西予市教育保健センター3階に電話教育相談室を設置して教育相談専用電話を取り付けており、相談員（学識経験者）を1人配置して月・水・土曜日の週3日で午後2時から午後6時まで相談電話に対応する。日報をもとに学校とも連携を取り、相談内容について検討・対応している。</p> <p>【成果】</p> <p>相談件数は、年間数件であり、利用率としては高くないが、逆に本市内の児童生徒の状況が落ち着いていることを表わしているといえる。</p> <p>誰でも、簡単に、誰にも知られることなく、自分の悩みや困っていることを聞いてもらったりアドバイスしてもらったりする場所があるということは、児童・生徒・保護者にとって、心のよりどころの一つとなり安心感へと結びつくものである。</p> <p>相談件数は少ないものの、電話相談の必要性は重要視されており、その設置の意義・成果は大きいといえる。</p> <p>【課題】</p> <p>いじめ等問題行動の早期発見、早期対応の点から、より一層効果が上がるよう本事業の運営について検討をしていきたい。周知方法についても一層の工夫をし、より効果的な電話相談となるよう検討していきたい。</p>						

○教育総務費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	学校再編推進事業			所管課	教育総務課		
				費目	事務局費		
事業費	49,876	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
			5,000			29,820	15,056
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>平成21年10月に策定した「西予市小学校再編計画」に基づき、西予市内小学校26校の再編について協議・検討を進めている。</p> <p>平成25年度の推進状況は以下のとおり。</p> <p>○三瓶地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編推進委員会全体会 4回開催 ・平成26年3月24日（月） 二木生、蔵貫小学校閉校記念式典 ・平成26年3月25日（火） 周木小学校閉校記念式典 ・平成26年3月30日（日） 三瓶小学校閉校記念式典 ・平成26年3月31日（月） 三瓶、蔵貫、二木生、周木 各小学校閉校 ・西予市立三瓶小学校校歌・校章の作成 <p>○明浜地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編推進委員会全体会 2回開催 ・平成25年6月25日（火） 明浜地区小学校再編推進委員会統合調印式 <p>○野村地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編推進委員会全体会 3回開催 ・平成25年8月29日（木） 野村地区小学校再編推進委員会統合調印式 <p>○城川地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小学校PTAとの協議 4回開催 ・各小学校保護者説明会 4回開催 ・各地区未就学児童保護者説明会 3回開催 <p>【成果】</p> <p>関係保護者、地域住民、PTA等との十分な協議を行い、西予市小学校再編推進計画に基づく推進ができた。</p> <p>○三瓶地区</p> <p>三瓶地区小学校4校（三瓶・蔵貫・二木生・周木）が平成26年3月31日をもって閉校し、平成26年4月1日「西予市立三瓶小学校」が開校することとなった。</p> <p>○明浜地区</p> <p>明浜地区小学校4校（俵津・狩江・高山・田之浜）を再編することについて、関係保護者・地域住民から賛同を得ることができたことから、平成25年6月25日に統合調印式を行った。</p> <p>○野村地区</p>						

野村地区小学校5校（野村・大和田・溪筋・中筋・河成）を再編することについて、関係保護者・地域住民から賛同を得ることができたことから、平成25年8月29日に統合調印式を行った。

○城川地区

平成26年2月、3月に未就学児童を含む関係保護者への説明会及び再編を行うことについて意向確認を行った結果、過半数以上の賛同を得ることができた。

【課題】

城川地区について、今後は地域住民への説明を行って、城川地区全体での賛同を得ることが必要である。

宇和地区では、いまだ学校再編に対して保護者やP T A、地域住民から理解を得るに至っていない。今後とも、再編の意義等を継続して説明して関係者から賛同を得ることが重要である。教育課内部とも十分な連携を図りながら、計画に沿った取組に努める必要がある。



野村地区小学校再編推進委員会統合調印式



明浜地区小学校再編推進委員会統合調印式

事業名	語学指導外国青年招致事業			所管課	学校教育課		
				費目	語学指導外国青年招致事業費		
事業費	22,385	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							22,385
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」に基づき、英語圏の国々から、外国青年を招致し、中学校での英語科の指導及び小学校における外国語活動・国際理解等の指導に当たる。児童生徒の英語力の向上やコミュニケーション能力や国際感覚を育て視野を広げること、また、外国に対する興味関心を高めることなどを目的として行っている。25年度は、JETプログラムによる4人と嘱託1人のALTが、市内の中学校5校と小学校26校において指導に当たった。また、中学生の海外派遣の事前指導や、市民対象の英会話教室の講師として指導に当たり、市民の国際感覚を高めている。</p> <p>【成果】</p> <p>中学校では、英語教育の充実、小学校では児童の外国語活動及び外国語（英語）への興味づけや国際理解等大きな成果を上げることができた。また、英会話教室の開催や、各種行事へのALTの参加により市民の国際化への一助となった。</p> <p>○小学校</p> <p>①英語に対する興味関心が増し、児童が意欲的に取り組んでいる。</p> <p>②異文化への理解や関心が高まった。</p> <p>③英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、外国人に対しても積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度がみられるようになった。</p> <p>○中学校</p> <p>①英会話の学習に、関心・意欲が高まっている。</p> <p>②個々の能力や学力に応じた指導ができている。</p> <p>③授業者とALTによる指導形態が充実し、学習内容の理解を図ったり、個々へのきめ細かな対応ができている。</p> <p>④本物の英語力が伸びている。</p> <p>⑤海外派遣事業の英会話事前指導に生かすことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>小学校26校、中学校5校の計31校で、英語の授業や外国語活動が行われている。現在、小学校には年間18回から20回程度を標準としてALTが訪問している。</p> <p>新学習指導要領のもと、小学校5・6年生で年間35時間の外国語活動が実施されているが、これまでのALT活用の積み重ねを生かすことで、各小学校ではスムーズな外国語活動の実施と充実を図ることができた。現在、外国語活動の一層の充実が図られようとしている。今後、学習や活動内容の一層の充実を図るため、訪問日数の増加も含め、検討を進めることが必要である。</p>						

○教育総務費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	教員住宅維持管理事業			所管課	教育総務課		
				費目	教員住宅管理費		
事業費	638	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
						638	
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】 教職員住宅の維持管理に努めた。</p> <p>○歳出 637,317円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費 278,773円（修繕費、空家草刈における消耗品費等） ・役務費 135,055円（消防設備点検、浄化槽点検、口座振替手数料等） ・委託料 143,489円（浄化槽維持管理委託料） ・使用料及び賃借料80,000円（田之浜西教職員宿舎用地借上料） <p>○歳入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員住宅使用料 4,014,000円 <p>【成果】 入居者管理において適切に対処し、維持することができた。</p> <p>【課題】 教職員宿舎再編計画により、公営住宅への転用や解体を進めているが、統廃合後も既存のまま使用予定である教職員宿舎も、大幅な修繕が必要な建物があり、計画を見直しながら進めていく必要がある。</p>						

○教育総務費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	学校安全体制整備推進事業			所管課	学校教育課		
				費目	諸費		
事業費	558	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
				372			186
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>学校安全体制整備推進事業において、経験豊かなスクールガードリーダーを雇用し、市内各学校の巡回により、学校安全相談・指導、安全対策への助言等を行い、学校安全体制の充実を図る。</p> <p>3人のスクールガードリーダーにより、各学期に1回ずつ、年3回の巡回指導を市内小中学校31校に対して実施した。</p> <p>【成果】</p> <p>各学校に訪問し、学校の実状を把握しながら学校安全に対する相談や指導を行うことで、学校のニーズにあった適切な指導や助言ができ、学校の安全体制や職員の意識の向上が図られ、学校安全の推進に貢献した。</p> <p>【課題】</p> <p>登下校や防災等、学校安全の一層の効果的な推進について検討したい。</p>						
事業名	私立幼稚園就園奨励補助金事業			所管課	学校教育課		
				費目	諸費		
事業費	8,051	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
			2,001				6,050
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>私立幼稚園に対して、幼児教育の振興を図る観点から、保護者の所得状況に応じた経済的負担軽減のため、補助金を交付している。</p> <p>幼稚園が該当する保護者の調書を取りまとめて教育委員会に申請する。教育委員会は書類を審査のうえ補助金額を確定し、幼稚園に交付する。</p> <p>【成果】</p> <p>私立幼稚園3園（122人の保護者）に補助金の交付を行った。</p> <p>【課題】</p> <p>多子世帯の負担軽減拡充等について、国の補助基準との格差があるため近隣市町の状況を踏まえて、市の補助基準を見直す必要がある</p>						

事業名	スクールバス維持管理事業			所管課	教育総務課		
				費目	スクールバス管理費		
事業費	31,697	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							31,697
事業内容	【事業内容・実施状況等】 スクールバスの運行維持管理に努めた。						
	明浜地区	【市所有バス2台（委託）】 ○歳出 6,298,867円 ・明浜中学校生徒の登下校 （1号車：田之浜往復70分、2号車：高山往復40分） ・学校行事での送迎					
	野村地区	【市所有バス1台（委託）】 ○歳出 3,209,774円 ・野村中寄宿舎生の寄宿舎から惣川・大野ヶ原間の利用 （1便 往復3時間） ・週明けと週末の送迎 ・土日祝日、長期休業中の部活送迎					
	城川地区	【①民間バス1台（委託・野井川線）】 ○歳出 3,720,000円 ・城川中学校生徒・魚成小学校児童の登下校 （1便往復50分 下遊子～城川中学校間） 【②市所有バス1台（委託・川津南線）】 ○歳出 2,392,083円 《平成25年9月まで代替バスとの兼用。10月より単独運行。》 ・城川中学校生徒の登下校 （1便往復70分 川津南～城川中学校間） ・学校行事での送迎 【③市所有バス1台（委託・寺野線）】 ○歳出 2,188,413円 《平成25年9月まで代替バスとの兼用。10月より単独運行。》 ・城川中学校生徒・土居小学校児童の登下校 （1便往復40分 寺野～城川中学校間） ・学校行事での送迎					
		三瓶地区	【市所有バス3台（市直営）】 ○歳出 13,322,371円 ・三瓶中学校生徒の登下校 （北地区：二及・周木往復40分、南地区：蔵貫・下泊往復50分）				

	・学校行事での送迎
学校行事 送迎	学校行事における送迎（11人未満の送迎） [歳出] 564,947円 ・タクシー使用及び庁用車10人乗りを使用し運転を業者へ委託

[歳出合計] 31,696,455円

【成果】

平成25年度は、城川地区川津南線及び寺野線で代替バスの廃止があり、スクールバス単独運行となった。市内各地区のスクールバス乗車対象児童生徒を安全に通学させることができた。

【課題】

地理的条件や児童及び生徒の人数等により、各地区で差が出ないように、配慮する必要がある。各地区における小学校の統合にあった運行方法を展開していく。



城川地区スクールバス（寺野線・川津南線）

(2項) 小学校費

学習指導要領及び西予市教育基本方針に基づき、学校・家庭・地域社会の連携と協働により、「特色ある教育と開かれた学校経営」を展開し、豊かな人間性や、自ら学び考える力などの「共に生きる力」をはぐくむ教育の推進に努めた。

○小学校費の主な事業

平成25年度決算 (単位：千円)

事業名	小学校施設修繕事業			所管課	教育総務課		
				費目	学校管理費		
事業費	32,098	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							32,098
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】 老朽化した小学校施設の修繕を実施した。 ・修繕実施件数 79件</p> <p>【成果】 老朽化した施設の修繕、日常の使用により消耗した設備の修繕を行うことで、施設を良好な状態で使用でき、安心安全な学習環境の充実に寄与することができた。</p> <p>【課題】 施設・設備の修繕が必要な案件は未だに多く、計画的に実施していく必要がある。</p>						

○小学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	児童・職員各種健康管理委託事業			所管課	学校教育課		
				費目	学校管理費		
事業費	6,607	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							6,607
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】</p> <p>学校保健安全法に基づき、児童・教職員の健康診断を業者委託により実施した。 (委託内容)</p> <p>○児童 尿検査、ギョウ虫検査、心電図検査（1・4学年のみ）、貧血検査（1・2・3学年のみ）、脊柱側弯症検査（5学年のみ）、小児生活習慣病予防健診（肥満度測定、血圧測定、血液検査等、4・5・6学年のみ）</p> <p>○教職員 尿検査、心電図検査、血液検査、血圧測定、結核検診、胃がん検診（40歳以上）、大腸がん検診（40歳以上）</p> <p>※児童、教職員とも、その他の検査は学校医、養護教諭が行う。</p> <p>【成果】</p> <p>健診結果を基に、児童、教職員の健康状態が総合的に把握でき、養護教諭、学校医らにより適切な保健指導を児童、教職員に与えることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>各科目の精検率は全体的には依然として低い状態が続いている。う歯は、保有者数では全国的な傾向と同じく改善傾向にある。</p> <p>なお、平成22年度から尿検査、寄生虫検査のみ委託業者を変更したことで、安価な単価により、検査を実施できているが、契約更新に当たっては、学校（養護教諭）の意見や特定健康診断に対応するデータを取り扱う学校共済の意見を踏まえながら検討する必要がある。</p>						

○小学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	小学校生活支援員設置事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	35,667	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							35,667
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】 障がいのある児童が、それぞれのニーズに応じた支援を受けながら、豊かな学校生活を過ごせるようにするために、市内小学校で必要と認める学校に配置する。市内10小学校に21人の生活支援員を配置した。</p> <p>【成果】 発達障がい等の障がいのある児童に配置し、一人一人のニーズに応じたマンツーマンでの支援を行い、対象児童が明るく楽しく学校生活を送ることができた。また、支援員のかかわりが、級友の対象児童理解にもつながっている。適切な支援により学校生活がより豊かなものになっている。</p> <p>児童のニーズが多様化する中、保護者等からの配置希望は年々増加しており、平成25年度では24人の児童が支援を受け、学校や保護者からも評価されている。</p> <p>【課題】 児童のニーズの多様化に伴い、生活支援員の増員を求める声大きい。</p>						
事業名	小学校各種大会出場補助事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	2,343	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							2,343
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】 学校からの申請により、各種大会に出場する児童・引率教師の宿泊費、交通費、食事代等の補助を行い保護者・引率者の負担軽減を図った。</p> <p>【成果】 市内水泳大会、陸上記録会等に出場する事ができた。</p> <p>【課題】 補助対象経費の検討が必要である。（引率人数、バス借り上げ、宿泊費等）</p>						

○小学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	小学校情報教育振興事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	9,931	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							9,931
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】 市内小学校のコンピュータ等の設備の管理。 各学校のコンピュータ教室のパソコン・サーバ・スキャナ・プリンタ・ネットワーク機器の管理や公設パソコン（教職員使用）の管理を行った。また、各パソコンのウィルス対策の適用、カラーレーザープリンタの保守契約、情報教育アシスタントによる各教職員のICT技術指導・研修会の開催、ICT機器故障時のサポートを行った。</p> <p>【成果】 十分な設備で各学校の情報教育・校務の情報化に役立っている。</p> <p>【課題】 機器更新の計画及び検討が必要である。</p>						

○小学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	小学校義務教育教材購入事業			所管課	教育総務課		
				費目	教育振興費		
事業費	5,044	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							5,044
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>小学校児童の学習環境向上のため、市内26校分の教材備品を一括して競争見積し購入した。</p> <p>備品購入費 ティンパニ（楽器）他 5,043,612円</p> <p>【成果】</p> <p>小学校の教材備品を整備し、学力の向上に寄与できた。</p> <p>【課題】</p> <p>新学習指導要領・生きる力に沿った教材備品を、統廃合を考慮し、計画的に整備していく必要がある。</p>						
事業名	小学校教育相談員設置事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	560	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
				186			374
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>「ハートなんでも相談員配置事業」を三瓶・野村小学校で、幼稚園・小学校教育における指導経験者を教育相談員として配置し、児童とその保護者、教職員に対する相談活動を行い、明るく楽しい学校生活を送れるよう援助した。延べ1,800人余りの児童や保護者、教員に対し相談や対話を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>学級担任や養護教諭との連携を図りながら、教育相談体制の中心として活動した。いじめ、不登校問題の早期発見・解決のため尽力し、児童が明るく楽しい学校生活を送る上で貢献しており、学校や保護者からの評価も高い。</p> <p>【課題】</p> <p>勤務日数・勤務時間の制限等、相談員の制約が大きい状況である。</p>						

○小学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	児童遠距離通学費補助事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	1,629	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
				67			1,562
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>通学距離が4km以上の児童に対し、バス定期（定期代全額）、徒歩通学費（年額12,000円）補助等を行う。三瓶地区児童は通学距離が3km以上。（スクールバス運行地域は補助対象外）</p> <p>【成果】</p> <p>遠距離通学生47人に補助を実施。</p> <p>【課題】</p> <p>市内で補助対象距離に違いがある為、検討が必要である。</p>						
事業名	小学校自然教室等教育費補助事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	340	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							340
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>自然を生かした教育活動の充実を図るため、自然教室に参加する児童、引率教員の施設利用料、交通費、消耗品等を補助する。</p> <p>【成果】</p> <p>市内全小学校で自然教室を実施。</p> <p>【課題】</p> <p>補助対象経費、実施施設等の検討が必要である。</p>						

○小学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	小学校振興事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	6,614	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							6,614
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】 学校ごとに取り組む各種教育事業（学校活動）を推進する。 ※学校の維持管理経費・通常経費は別事業 予算は、学校の規模・状況に応じた定額経費と、学校活動にあわせた要望によるものに分かれる。</p> <p>【成果】 各学校の運営方針、教育方針に基づいた学校活動が実施できた。</p> <p>【課題】 市の行政・財政改革の中にあって、学校活動の内容・レベルを維持してゆくこと。 学校再編を推進するうえで、新設校における新たな事業展開、予算編成の検討が必要となる。</p>						
事業名	小学校施設整備事業			所管課	教育総務課		
				費目	学校建設費		
事業費	925	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							925
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】 校舎・体育館・付属施設（機械器具含む）の整備を行った。 ・多田小学校スロープ設置工事 ・多田小学校エアコン設置工事</p> <p>【成果】 施設の改修・整備を行うことで、施設を良好な状態で使用でき、安全・安心な学習環境の充実に寄与することができた。</p> <p>【課題】 施設の整備が必要な案件は未だに多く、計画的に実施していく必要がある。</p>						

事業名	三瓶小学校校舎新築事業			所管課	教育総務課		
				費目	学校建設費		
事業費	917,615	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
			337,438		565,300		14,877
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>三瓶小学校校舎については、耐力度調査の結果から構造上危険な建物であることが判明した。</p> <p>また、三瓶小学校については、三瓶地区小学校再編計画において統合校舎であることから、統合にあわせて校舎を改築するため、平成24年度に統合校舎建設に着工し、平成26年3月に完成した。</p> <p>(統合校舎建設工事の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模・構造 鉄筋コンクリート造3階建（内装木質化・太陽光発電設備） ・延床面積 4,803.98㎡ ・工期 平成24年10月23日～平成26年2月28日 ・総事業費 1,303,582千円 <p>(事業費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 908,036千円（平成25年度支出分） ・委託料 9,068千円（平成25年度支出分） ・その他 511千円 <p>【成果】</p> <p>平成26年度に統合する三瓶地区小学校の統合校舎を改築したことにより、児童・教職員等の安全・安心な教育環境を整備することができ、市民からも地域のシンボルとして愛着の持てる施設となった。</p>						
	 <p style="text-align: center;">西予市立三瓶小学校校舎全景</p>						

○小学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	野村小学校南校舎改築事業			所管課	教育総務課		
				費目	学校建設費		
事業費	35,173	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
			11,903		13,800		9,470
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>野村小学校南校舎については、平成21年度に実施した耐力度調査の結果、構造上危険な建物であることが判明した。</p> <p>また、野村小学校については、野村地区小学校再編計画において統合拠点校であることから、統合にあわせて南校舎を改築するため、平成25年度において南校舎及び児童用昇降口の解体工事を実施するとともに、平成26年度末完成に向けて南校舎の改築工事に着工した。</p> <p>(解体工事の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模・構造 鉄筋コンクリート造3階建（一部2階建） ・延床面積 1,176.41㎡ ・工事請負費 28,515千円 <p>(改築工事の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模・構造 鉄筋コンクリート造3階建（内装木質化） ・延床面積 1,666.44㎡ ・工事請負費 6,610千円（平成25年度出来高払い額） ・手数料 48千円 <p>【成果】</p> <p>統合に合わせて南校舎の改築を行うため、解体工事を行うとともに改築工事に着工できた。</p> <p>【課題】</p> <p>平成27年4月1日統合に向けて、南校舎の改築事業を推進しなければならない。</p>						

○小学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	明浜地区小学校統合校舎建設事業			所管課	教育総務課		
				費目	学校建設費		
事業費	118,096	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
			43,173		38,400		36,523
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>俵津小学校については、平成24年度に実施した耐力度調査の結果、構造上危険な建物であることが判明した。</p> <p>また、明浜地区小学校再編計画において現俵津小学校敷地内に統合校舎を建設するため、平成25年度において俵津小学校プール解体工事及び明浜中学校プール増設工事を実施するとともに、平成26年度末完成に向けて統合校舎の建設工事に着工した。</p> <p>(プール解体工事関係の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事概要 俵津小学校プール解体工事及び明浜中学校プール増設工事 ・工事請負費 25,675千円（平成25年度支出分） ・委託料 9,126千円（平成25年度支出分） <p>(統合校舎建設の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模・構造 鉄筋コンクリート造3階建（内装木質化・太陽光発電設備） ・延床面積 2,837.93㎡ ・工事請負費 82,000千円（平成25年度支出分） ・監理委託料 828千円（平成25年度支出分） ・手数料 467千円 <p>【成果】</p> <p>統合に合わせて校舎を建設するため、建設工事に着工できた。</p> <p>【課題】</p> <p>平成27年4月1日統合に向けて、統合校舎の建設事業を推進しなければならない。</p>						

○小学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	野村小学校施設整備事業			所管課	教育総務課		
				費目	学校建設費		
事業費	176,164	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
			40,258		126,400		9,506
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>野村小学校については、野村地区小学校再編計画において統合拠点校であることから、今後も使用していくうえで全面的に整備することで児童に快適な学習環境の整備を図るため、平成25年度において北校舎及び本校舎の大規模改修工事を実施した。</p> <p>(建物の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北校舎 昭和54年3月建築 鉄筋コンクリート造3階建 1,402㎡ ・本校舎 昭和54年6月建築 鉄筋コンクリート造3階建 2,317㎡ <p>(事業費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 173,996千円 ・委託料 1,575千円 ・その他 592千円 <p>【成果】</p> <p>北校舎及び本校舎の大規模改修工事を実施したことにより、安全・安心で快適な学習環境に整備できた。</p> <p>【課題】</p> <p>今後も計画的に屋内運動場の改修及びプールの改築を行う必要がある。</p>						

(3項) 中学校費

学習指導要領及び西予市教育基本方針に基づき、学校・家庭・地域社会の連携と協働により、「特色ある教育と開かれた学校経営」を展開し、豊かな人間性や、自ら学び考える力などの「共に生きる力」をはぐくむ教育の推進に努めた。

○中学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	生徒・職員各種健康管理委託事業			所管課	学校教育課		
				費目	学校管理費		
事業費	4,869	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							4,869
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】</p> <p>学校保健安全法に基づき、生徒・教職員の健康診断を業者委託により実施した。 (検査内容)</p> <p>○生徒 尿検査、心電図検査、脊柱側弯症検査（2学年のみ）、小児生活習慣病予防健診（肥満度測定、血圧測定、血液検査等）</p> <p>○教職員 尿検査、心電図検査、血液検査、血圧測定、結核検診、胃がん検診（40歳以上）、大腸がん検診（40歳以上）</p> <p>※生徒、教職員とも、その他の検査は学校医、養護教諭が行う。</p> <p>【成果】</p> <p>健診結果を基に、生徒、教職員の健康状態が総合的に把握でき、養護教諭、学校医らにより適切な保健指導を生徒、教職員に与えることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>各科目の精検率は全体的には依然として低く横ばいとなっている。う歯は、保有者数では全国的な傾向と同じく改善傾向にある。</p> <p>なお、平成22年度から尿検査、寄生虫検査のみ委託業者を変更したことで、安価な単価により、検査を実施できているが、契約更新に当たっては、学校（養護教諭）の意見や特定健康診断に対応するデータを取り扱う学校共済の意見を踏まえながら検討する必要がある。</p>						

○中学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	野村中寄宿舎維持管理事業			所管課	学校教育課		
				費目	学校管理費		
事業費	10,282	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
						250	10,032
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>大野ヶ原地区、惣川地区から野村中学校へ就学している生徒、保護者の負担軽減及び寄宿舎の円滑な管理運営を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>寄宿舎の円滑な運営に寄与する事ができた。</p> <p>【課題】</p> <p>寄宿舎生徒がより良い環境で学習に励めるように、学校と協力して事業を実施していく必要がある。</p>						
事業名	中学校生活支援員設置事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	15,880	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							15,880
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>障がい等のある生徒一人一人が豊かな学校生活を過ごせるようにするために、市内の中学校で必要と認める学校に配置する。中学校3校に8人の生活支援員を配置した。</p> <p>【成果】</p> <p>通常の学級在籍生徒6人、特別支援学級在籍生徒3人に対し、8人の生活支援員が支援を行った。対象生徒のニーズに応じた支援を行い、対象生徒が明るく楽しく学校生活を送ることができている。また、支援を行うことにより、トラブルを事前に回避することができ、生徒の落ち着いた学校生活につながるとともに、学級・学校運営上も大きな力となったとの評価を得ている。</p> <p>【課題】</p> <p>生徒のニーズの多様化に伴い、生活支援員の増員を求める声大きい状況にある。</p>						

○中学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	中学校情報教育振興事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	2,154	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							2,154
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】 市内中学校のコンピュータ等の設備の管理。 各学校のコンピュータ教室のパソコン・サーバ・スキャナ・プリンタ・ネットワーク機器や、公設パソコン（教職員使用）の管理を行った。また、各パソコンのウィルス対策の適用や、カラーレーザープリンタの保守契約および情報教育アシスタントによる各教職員のICT技術指導・研修会を開催し、ICT機器故障時のサポートを行った。</p> <p>【成果】 十分な設備で各学校の情報教育・校務の情報化に役立っている。</p> <p>【課題】 機器更新の計画・検討が必要である。</p>						
事業名	中学校義務教育教材購入事業			所管課	教育総務課		
				費目	教育振興費		
事業費	3,455	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							3,455
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】 中学校生徒の学習環境向上のため、市内5校分の教材備品を一括して競争見積し購入する。 (主な経費) 備品購入費 チューバ(楽器)他 3,454,501円</p> <p>【成果】 中学校の教材備品を整備し、学力の向上に寄与できた。</p> <p>【課題】 新学習指導要領・生きる力に沿った教材備品を計画的に整備していく必要がある。</p>						

○中学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	中学校教育相談員設置事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	927	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
				406			521
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>「ハートなんでも相談員配置事業」を明浜・宇和中学校で、「スクールカウンセラー配置事業」を三瓶・城川・野村中学校で、「スクールソーシャルワーカー配置事業」を野村中学校で実施。延べ900人の生徒や教職員、保護者に対し、相談活動を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>精神的に不安定になりがちな生徒に対し、学級担任とは異なる立場で相談活動を行い、友人関係などの悩み等にアドバイスを行った。生徒にとって、心のよりどころともなっており、相談員の果たしている役割は大きい。</p> <p>【課題】</p> <p>不登校生徒への指導と相談員の勤務時間等の制限の検討が必要である。</p>						
事業名	中学校各種大会出場補助事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	9,702	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							9,702
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>学校からの申請により、各種大会に出場する生徒・引率教師の宿泊費、交通費、食事代等の補助を行い、保護者、引率者の負担軽減を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>各県大会、四国大会、全国大会への出場者の負担を軽減し、選考選手全員が大会に出場する事ができた。</p> <p>【課題】</p> <p>補助対象経費の検討が必要である。（引率人数、バス借り上げ、宿泊費等）</p>						

○中学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	中学校自然教室等教育費補助事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	595	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							595
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>自然を生かした教育活動の充実を図るため、自然教室に参加する生徒、引率教員の施設利用料、交通費、消耗品等を補助する。</p> <p>【成果】</p> <p>市内全中学校で自然教室を実施した。</p> <p>【課題】</p> <p>自然教室実施施設については、学校の方針・学校規模・これまでの経緯等を考慮し、検討の必要がある。</p>						
事業名	生徒遠距離通学費補助事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	9,531	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							9,531
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>通学距離が5km以上の生徒に対し、バス定期（定期代全額）、自転車通学費（自転車等購入時初回35,000円）の補助を行う。宇和・三瓶地区生徒は4km以上。（スクールバス運行地域は補助対象外）</p> <p>【成果】</p> <p>遠距離通学生110人に補助を行った。</p> <p>【課題】</p> <p>西予市内で補助対象距離に違いがあるので、見直しが必要である。</p>						

○中学校費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	ヘルメット購入補助事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	204	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							204
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>ヘルメット初回購入の生徒に対して、購入に係る費用の2分の1を補助する。</p> <p>【成果】</p> <p>市内生徒143人に補助を行った。</p> <p>【課題】</p> <p>補助率が2分の1で上限もなく補助額に違いが生じるので、見直しが必要である。</p>						
事業名	中学校振興事業			所管課	学校教育課		
				費目	教育振興費		
事業費	2,943	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							2,943
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>学校ごとに取り組む各種教育事業（学校活動）を推進する。</p> <p>※学校の維持管理経費・通常経費は別事業</p> <p>予算は、学校の規模・状況に応じた定額経費と、学校活動にあわせた要望によるものとに分かれる。</p> <p>【成果】</p> <p>各学校の運営方針、教育方針に基づいた学校活動が実施できた。</p> <p>【課題】</p> <p>市の行政・財政改革の中にあって、学校活動の内容・レベルを維持してゆくこと。</p>						
事業名	中学校施設整備事業			所管課	教育総務課		
				費目	学校建設費		
事業費	14,854	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							14,854
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>校舎・体育館・付属施設（機械器具含む）の整備を行った。</p> <p>○宇和中学校外構工事</p> <p>【成果】</p> <p>宇和中学校では外構の改修により、安全・安心な学習環境の充実に寄与することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>各中学校において、施設の老朽化により整備が必要な案件は未だに多く、計画的に実施していく必要がある。</p>						

(4項) 幼稚園費

幼稚園教育要領及び西予市教育基本方針に基づき、園・家庭・地域社会が連携・協働しながら、心身の健やかさ、たくましさが育つよう、子どもを地域の宝として大切に見守り、人間性の基礎を育てる教育の推進に努めた。

○幼稚園費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	園児・職員各種健康管理委託事業			所管課	学校教育課		
				費目	幼稚園費		
事業費	19	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							19
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】 学校保健安全法に基づき、園児（幼児）の健康診断を実施するとともに、園医、園歯科医による健診、保健指導を実施した。 （検査内容） 尿検査、ギョウ虫検査、その他寄生虫検査 ※その他の検査は園医、教諭が行う。</p> <p>【成果】 検査結果を基に、園児の健康状態が総合的に把握でき、園医、教諭らにより適切な保健指導を園児に与えることができた。</p> <p>【課題】 幼少期から、肥満体型になったり、逆に痩せ型になったりと、体型に偏りが見られ始める。身体がつくられてゆく大事な時期にあつて、見過ごしがたい状況であり、早期の改善が求められる。 園と家庭、市（保健師、栄養士）などが連携しながら継続的に対策を講じる必要がある。また、西予市食育推進計画に沿った食育の徹底が求められる。</p>						
事業名	公立幼稚園維持管理事業			所管課	学校教育課		
				費目	幼稚園費		
事業費	1,993	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							1,993
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】 公立幼稚園6園の円滑な運営、維持管理を行なう。（燃料費、消耗品、印刷製本費等）</p> <p>【成果】 公立幼稚園を円滑に運営することができた。</p> <p>【課題】 市の行政・財政改革の中にあつて、今後さらに予算の効率的な執行を行う必要がある。</p>						

(5項) 社会教育費

西予市教育基本方針に基づき、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を自覚するとともに、相互間で連携及び協力を図りつつ、市民一人一人が自発的に学習し、学んだ成果を社会に還元できる生涯学習の推進に努めた。

○社会教育費の主な事業

平成25年度決算(単位:千円)

事業名	社会教育委員会事業			所管課	生涯学習課		
				費目	社会教育総務費		
事業費	675	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							675
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】</p> <p>社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が委嘱する。(西予市条例 西予市社会教育委員の定数及び任期等に関する条例 第3条)</p> <p>社会教育委員は教育委員会に対して教育長を経て助言を行い、社会教育に関する諸計画を立案する。また、会議を開き教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べることとなっている。(社会教育法第17条)</p> <p>任期は2年で、主な事業は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会全体会(年2回) ・社会教育委員会専門部会(年2回) ・県社会教育連絡協議会加入 <p>【成果】</p> <p>少人数での5専門部会(人権・同和教育、社会体育・文化教育、婦人教育、家庭教育・青少年教育、成人・高齢者教育)を実施し、委員の意見を反映した取り組みができた。特に婦人教育専門部会から提案のあった「せいよ子どもグッズまつり」については今年度で6回目を迎えたが、実行委員会の立ち上げ等、各種団体を巻き込んだ取り組みとして拡充され、参加者数、内容ともに効果的な事業が展開されている。また、家庭教育・青少年教育専門部会では、青少年健全育成事業においては、PTAと青少年育成協議会の類似イベントを共催にし、今年度の「西予市PTA大会・人づくりを考える集い」講師も専門部会で協議する等、効果的な事業を展開できた。</p> <p>【課題】</p> <p>委員からの意見を中心にした社会教育計画書の策定を考えているが、行政主体の計画書の策定となっている。</p>						

事業名	成人式開催事業			所管課	生涯学習課		
				費目	社会教育総務費		
事業費	1,664	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							1,664
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>当該年度に20歳を迎える成人を祝うために、式典を行う。</p> <p>成人式に参加することにより、大人として、成人としての自覚と責任を認識し、同世代の仲間との交流を通して、ふるさとを愛する心を培う。</p> <p>当該年度の住民票・市内中学校（県立学校中学部）卒業者名簿より対象者を抽出し案内状を送付する。</p> <p>市内各種団体（機関）長、県議、市議へ来賓としての出席を依頼。</p> <p>成人者へは、記念品（西予市産シルクを使用した印鑑ケース・ストラップセット、記念写真）を贈呈。記念行事は、新成人代表者からの意見発表、成人式記念VTR「ふるさと せいよ」を放映。</p> <p>【成果】</p> <p>対象者：419人 出席者：340人 出席率：81.1%</p> <p>平成26年成人式について、新成人へアンケートを実施し、「成人式はどうでしたか」並びに「記念VTRはどうでしたか」の問いに対して、男女とも概ね9割の方より良かったとの評価を得た。</p> <p>また、記念品を西予市の特産品にすることにより、西予市産の良さと郷土への愛着を成人者に深めて貰うことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>限られた予算と時間の中で、成人者のニーズに即した記念事業の実施が必要である。</p> <p>参加者の服装については自由としているが、女性の参加者は、ほとんどが着物での参加である。アンケートの記述にて、服装に関しては自由や個性を大事にすべきであるという意見が出ている。</p>						

事業名	放課後子どもプラン事業			所管課	生涯学習課		
				費目	社会教育総務費		
事業費	772	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
				514			258
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】</p> <p>地域社会の中で、放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、社会福祉課と連携し文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と、厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（学童保育）」を一体的あるいは連携して行っている。</p> <p>①放課後子どもプラン実行委員会の開催 （西予市の放課後子ども教室及び放課後児童健全育成事業をどのように進めていくのかの会議）</p> <p>②放課後子ども教室の開催 ・城川地区での放課後子ども教室の開催</p> <p>③愛媛県への補助金申請（放課後児童健全育成事業分含む） （県：補助対象経費の3分の2を申請）</p> <p>【成果】</p> <p>市では平成24年度より「放課後子ども教室」を開催している。 25年度は城川地区で開催し、とても好評であった。</p> <p>【課題】</p> <p>ニーズ調査を行い、地域の要望に合った子どもプランを行うように努める。 小学校の再編に伴い、より一層子どもプランの必要性が増してくると考えられるため、放課後子どもプラン実行委員会等で慎重に検討する。</p>						

事業名	家庭教育支援事業			所管課	生涯学習課		
				費目	社会教育総務費		
事業費	1,028	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
				660			368
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】 子どもの健やかな育ちや楽しい子育てを支援し、厳しい社会環境の中で子育てや家庭教育に取り組んでいる保護者の方々にあらゆる応援活動を進める。</p> <p>①家庭教育・子育てに関する学習会・講座・イベントの実施 ・グループスタッフが講師になっての講座、イベント ・外部講師を招いての講座、イベント ・学校、PTA、児童福祉関係者等と合同の研修</p> <p>②家庭教育・子育て相談活動 ・学校やPTAと連携した相談会や家庭訪問 ・拠点場所（相談事務所）への来所による相談活動 ・電話相談 ・中学校での訪問相談</p> <p>③家庭教育・子育てに関する情報提供 ・「応援グループ」の活動や家庭教育・子育てに関する情報誌の配布</p> <p>【成果】 各小学校、中学校、保育所、幼稚園への情報誌発行を通じて学習会及び講座への参加人数は増えつつある。</p> <p>【課題】 家庭教育に問題を抱えている家庭ほど、講座や学習会に無関心な家庭が多く、呼びかけても相談しようとしなない事や、悩みを他人に打ち明ける事の出来ない孤立・孤独な子育てを行っている人への呼びかけが難しい現状がある。 これまでどおりの学習会・講座・広報誌等に加えて、より要支援者に近い位置での一歩踏み込んだ支援が必要になっている。</p>						

○社会教育費の主な事業

平成25年度決算(単位:千円)


事業名	市誌編纂・発行事業			所管課	生涯学習課		
				費目	社会教育総務費		
事業費	1,070	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							1,070
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>西予市合併10周年を迎え、旧5町の町誌の統合と西予市の合併10年の軌跡や歴史文化の保存と継承を行う。併せて西予市発足後の行政・産業・文化教育の資料収集し、市誌として後世に伝える。</p> <p>平成25年度は市誌編纂委員会の立ち上げと発刊業者の選定を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>市誌編纂委員会の立ち上げを行い、市誌の校正や編纂スケジュールを決定し資料収集を行った。また、業者の選定を実施し委託契約を行った。</p> <p>【課題】</p> <p>市誌を発刊することにより市内外に西予市の旧町時代からの歴史文化を発信し、本市の理解と市域としての一体感の向上を図りたい。</p>						

事業名	公民館運営事業(宇和地区公民館 7館、中央公民館1館)			所管課	生涯学習課、中央・地区公民館		
				費目	公民館費		
事業費	1,114	財 源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							1,114
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>宇和地区内7館（多田・中川・石城・宇和・下宇和・田之筋・明間）におけるイベント事業及び公民館講座事業、中央公民館講座事業を行う。</p> <p>各地区で住民の学習ニーズを把握し、地域の実情にあった学級・講座を開設し、乳幼児から高齢者まで幅広い学びの場を提供した。また講座以外にも、各地区で敬老会、盆踊り大会、運動会、文化祭等の事業を開催し、地域の特性を生かした公民館活動を展開し、活力ある地域づくりを目指した。</p> <p>① 家庭教育：料理教室、幼児交流会、遊びの広場、つながり学級（中学生保護者）</p> <p>② 青少年教育：わんぱくチャレンジスクール(キャンプ)、通学合宿、体験学習</p> <p>③ 成人教育：英会話、古典読書、各種趣味講座、スポーツ教室、ふる里探訪、健康教室</p> <p>④ 婦人教育：ミセスキッチン（料理教室）、いきいき学級、料理教室、レクバレー教室、各種趣味講座（絵手紙、手芸等）</p> <p>⑤ 高齢者教育：クロッキー教室、料理教室、健康教室、手芸教室</p> <p>⑥ 人権教育：各地区人権の集い、指導者研修会、地区別学習会（草の根懇談会）</p> <p>【成果】</p> <p>それぞれの公民館が特色のある活動を展開し、時代の要請に応える人づくりが図れた。また、地域のニーズに応えた学びの機会が提供されており、学習の成果が地域活動につながっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日数 平均356日 ・講座イベント回数 124回 ・講座 イベント延参加人数(主催行事のみ) 6,174人 <p>【課題】</p> <p>今後も住民のニーズや地域課題をとらえた事業を実施する。</p> <p>公民館運営審議会の活性化と外部評価により公民館事業の精選を行う。</p> <p>学びをつなぎ、地域に還元していく体制づくりを構築するための調査研究を進める必要がある。</p> <p>限界集落問題や超高齢社会に直面し各地区の疲弊感は否めないが地域リーダーを養成し地域の特性を生かした公民館活動の在り方を考えていく必要がある。</p>						

事業名	公民館運営事業 (明浜地区公民館4館)			所管課	明浜教育課		
				費目	公民館費		
事業費	1,566	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							1,566
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>公民館が地域住民にとって最も身近な社会教育の拠点となり、さらに、コミュニティ形成を育む事業を展開し地域自治意識の高揚を目指した。</p> <p>① 地域づくり：地区運動会、盆踊り大会(各公民館開催)</p> <p>② 青少年活動：トムソーヤプログラム(2泊3日の自転車キャンプ・大野ヶ原への旅)・通学合宿(各公民館開催)</p> <p>③ 健康講座：山あるきんぐ教室・歩け歩け明浜海道</p> <p>④ 環境講座：ボカシ、廃油石鹸づくり・花いっぱい運動・海岸美化活動・粗大ゴミ回収</p> <p>⑤ その他講座：地区教育研究大会・乳幼児学級</p> <p>⑥ 人権教育：夏季人権教育指導者研修会・ふれあい人権教育(各公民館開催)</p> <p>⑦ 文化教育：産業文化祭(各公民館開催)・明浜ふる里芸能祭・明浜俳句大会 華道教室・手芸教室・門松、しめ縄作り、ふるさとの詩人・塔和子展</p> <p>⑧ 青少年健全育成活動：夜間パトロール(各公民館開催)</p> <p>⑨ 防災教育：津波避難訓練・防災講座(各公民館開催) 救急救命講習会</p> <p>⑩ スポーツ：レクバレー大会・ニュースポーツ大会</p> <p>【成果】</p> <p>子どもたちが将来故郷を語れる思い出づくりの事業や、スポーツを通じた健康講座、環境講座では海岸の美化活動など良い学習が実施できた。また、地域住民が要求している事業としての防災教育を今年度も開催できたことは、防災意識をより高める成果があった。</p> <p>【課題】</p> <p>公民館は、地域住民が自分たちの手で自分たちの地域を、より住みやすく快適に変えていくための活動拠点となる施設である。そのために、地域住民が主体的に公民館に参画する事業の実施や、システムづくりが急務となっている。</p> <p>また、明浜町では特に人口の減少や少子高齢化が急速に進む中、今後は更なる子育て支援や高齢者等の地域課題に向けた学習の展開が必要である。</p>						

事業名	公民館運営事業 (野村地区公民館6館)			所管課	野村教育課・地区公民館		
				費目	公民館費		
事業費	1,596	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							1,596
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>野村地区内6館(野村・溪筋・中筋・貝吹・横林・惣川)におけるイベント事業及び講座事業の実施。</p> <p>それぞれの公民館では、地域住民の社会教育・生涯学習の拠点として、地域コミュニティづくりを推進するとともに、関係機関・団体の連携を深め、地域の特色を生かし活力ある地域づくりに努める。</p> <p>① 地域づくりの推進：地域づくり交付金事業の展開</p> <p>② 青少年教育の推進：通学合宿、チャレンジ隊、アドベンチャースクールの実践 西予の川を守ろう会との連携 魚つかみ大会、食育教育の開催</p> <p>③ 婦人教育の推進：婦人学級の開催、花いっぱい運動、ジオ学習会の実践</p> <p>④ 文化教育の推進：文化祭の開催、史談会の協力・援助</p> <p>⑤ 高齢者教育の推進：健康づくり、グランドゴルフ、ノルディックウォーク</p> <p>⑥ 人権・同和教育の推進：人権のつどい野村会場の開催、各小集落学習会、校區別人権・同和研修会の実施</p> <p>⑦ 都市と農村交流事業の推進：風の子農業小学校</p> <p>⑧ 生涯スポーツの推進：各種大会の実施、のむらスポーツクラブ・ノルディック夢クラブとの連携事業</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種講座、イベントの開催において、学校・各種団体・地域との連携を図り充実した交流が実践できた。 ・それぞれの公民館において、地域の特色を生かした事業を実践し、地域のニーズに応えるべく学習の場が提供された。 ・四国西予ジオパーク推進に向け、各種団体等で積極的に「ジオ学習会」を行った。 ・のむらスポーツクラブ、ノルディック夢クラブと連携し、住民の健康増進に努めた。 ・公民館報の発行することにより、情報提供に努めた。 ・小学校再編推進委員会設立に伴い、各小学校区の地域部会の事務局として小学校跡地利用の研修に努めた。 <p>【課題】</p> <p>少子高齢化の進展に伴い、各種事業のマンネリ化・スタッフ及び参加者のマンネリ化により、事業内容の精査を図る必要がある。</p> <p>小学校再編に伴い、地域の核となる公民館活動の実践、魅力ある公民館活動の展開が必要である。</p> <p>地域づくり交付金事業を活かし、魅力ある地域づくり、誇れる地域づくりに向け、地域住民参加型の事業を推進する必要がある。</p>						

事業名	公民館運営事業 (城川地区公民館4館)			所管課	城川教育課・地区公民館		
				費目	公民館費		
事業費	2,191	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
			1,498				693
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>城川地区には、遊子川・土居・高川・魚成公民館の4館があり、地域住民の社会教育の拠点施設として様々な事業を展開している。</p> <p>また、各公民館においては、地域の重要課題を取り上げた社会教育懇談会を毎年開催し、地域の活性化に努めている。</p> <p>25年度に実施した事業で主なものは次のとおり。</p> <p>① 青少年教育：愛護班活動(城川のジオ見つけ隊・親子ふれあい会・スキー体験わくわく体験活動等)・水生生物調査</p> <p>② 婦人教育：各種婦人学級・施設訪問慰問・一日研修</p> <p>③ 文化教育：奥伊予ふるさと祭り・奥伊予盆踊り花火大会・木工教室</p> <p>④ 高齢者教育：クロッケー大会・健康づくり教室・一日研修・敬老会</p> <p>⑤ 人権・同和教育：人権のつどい城川会場・人権・同和教育講座・人権懇談会</p> <p>⑥ 成人教室：こいのぼり設置・夜市・門松づくり・各種イベント・なんぞやる会</p> <p>⑦ 家庭教育：環境問題学習会・ボカシづくり・読み聞かせ会・花いっぱい運動</p> <p>⑧ 社会体育：城川オリンピック・オールドスターズ夢の球宴・レクバレー大会・駅伝大会・地区運動会</p> <p>⑨ 地域づくり：国庫補助事業を取り入れた木工教室・雨包山春満喫ツアー・地域PR映像制作・都市住民との交流会・避難訓練・栗祭り等イベント</p> <p>【成果】</p> <p>社会教育の活動拠点施設として、地域住民の要望を取り入れた特色ある公民館活動を行うことができ、地域の活性化につながっている。</p> <p>スポーツイベント等を通じて、地域住民の交流と親睦を深めるとともに健康増進も図り、地域の活性化に寄与している。</p> <p>【課題】</p> <p>少子・高齢化の進行に伴い、各種イベント等への参加者が減少傾向にあるため、事業の見直し等を行い、参加者の確保が必要である。</p> <p>地域づくり交付金事業をうまく活用し、地域の活性化につなげるような、住民参加の魅力ある事業を推進する。</p> <p>学校再編等に伴い、ややもすると閉塞感が漂いがちな地域にとって、今まで以上に公民館が中心となってカバーし、住民の心の「よりどころ」となる公民館機能をさらに充実させていく。</p>						

事業名	公民館運営事業 (三瓶地区公民館3館)			所管課	三瓶教育課・地区公民館		
				費目	公民館費		
事業費	1,091	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
						55	1,036
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>三瓶東公民館、三瓶南公民館、三瓶北公民館の3館が、それぞれの地域の生涯学習の場となるよう様々な事業を展開するとともに、三瓶教育課により三瓶地区全域を対象とした様々な生涯学習教室を実施する。</p> <p>① 青少年学級：アドベンチャーみかめ・わんぱく学級・冒険広場・小学生バレーボール教室等</p> <p>② 社会体育：あじさいかつぷレクバレー大会・母の日レクバレー大会・健康ウォーク等</p> <p>③ 高齢者学級：交通安全教室・健康教室・しめなわ教室等</p> <p>④ 成人学級：なんでもセミナー・男性セミナー・ハングル講座・英会話教室・パソコン教室等</p> <p>⑤ 婦人学級：女性セミナー・民謡踊り講習会等</p> <p>⑥ 文化教育：花いっぱい運動・囲碁将棋大会・詩の教室等</p> <p>⑦ その他：イルミネーション点灯・防火訓練等</p> <p>【成果】</p> <p>地元の自然を体験させる事を目的にあらパーク・周木海水浴場でアドベンチャーみかめを開催した。地元の方の協力があり、充実したキャンプが行えた。</p> <p>小学校の統廃合を念頭におき、年賀はがきコンクールを3館合同で行った。小学校統廃合後の公民館事業の布石を打てた。</p> <p>【課題】</p> <p>事業がマンネリ化にならないよう、参加者が興味・関心を持つような内容の講座やイベントを考える必要がある。</p> <p>成人層（特に若年層）の参加が少ないため、若年層が参加できる事業を考案する必要がある。</p>						
	 <p>あらパークで体験したドラム缶風呂の様子（アドベンチャーみかめ）</p>						

事業名	西予市結婚推進委員会補助事業			所管課	生涯学習課		
				費目	公民館費		
事業費	1,440	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							1,440
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>宇和16人・野村13人・明浜・城川・三瓶各8人計53人の各地区結婚推進委員による結婚推進活動を行った。各地区毎月1回を基本に相談所を開設し、相談員による結婚相談を受け付け、登録制度の希望者は登録をした。また、各委員が対象者情報を共有し、個人の仲介斡旋活動を進めた。さらに円滑な活動につなげるよう情報交換会(年6回実施)を開催し、5町の委員が常に連携を図って結婚推進に努めた。今年度はえひめ結婚支援センターの応援企業に登録し、支援を受けての交流イベントを「若者コース」と「熟年コース」の2回実施した。</p> <p>各支部でも委員間の連絡を密にし、地区協議会や規模は小さいながらも集団交流を図るなど精力的に活動を進め、担当委員による戸別訪問等も実施した。</p> <p>(主な経費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員報酬：1人年10千円×委員数 ・成婚報酬：1件30千円 ・支部相談活動費：1人年15千円×委員数、各支部8千円×5地区 ・その他会議費等 <p>【成果】</p> <p>年間を通し結婚相談を各町で実施している。登録者数は26年3月末の登録者数は56人(男性48人、女性8人)となっている。</p> <p>25年度は推進委員会の取り組みによる成婚実績は4組あり26年度成婚予定も2組ある。これらは、えひめ結婚支援センターとの連携で開催した2回のイベントや、推進委員の活発な取り組みがうかがえる。</p> <p>今後も推進委員の熱心な取り組みにより、出会いのきっかけづくりを行い、さらに期待が高まっている。</p> <p>【課題】</p> <p>全国的に晩婚化、非婚化の傾向にある中、また主要産業が斜陽化しつつある中で結婚を仲介、成婚に結びつけることは容易ではない。しかしながら、人生の良い時期に結婚し、家庭人となることは生活設計の基本となり、後継者問題の解消にもつながり、産業振興やひいては市の活性化につながる。</p> <p>市民一人一人がこの問題を自分のこととしてとらえ、関心を高める十分な広報活動も必要である。社会教育行政としても結婚推進委員会の活動に委ねることなく、若年層には青年団活動等を通じて出会いの場を積極的につくることや、他の部局の事業連携等も考えていく必要がある。</p>						

事業名	図書館管理運営事業			所管課	西予市民図書館		
				費目	図書館費		
事業費	28,434	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							28,434
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>（事業の内訳）</p> <p>市民図書館管理運営事業 9,381千円 図書館庶務事業 7,397千円 図書館電算システム事業 11,656千円</p> <p>（主な実施内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用者へのサービス（読書推進、資料の収集、製本、レファレンスの対応） ・保健センターでの検診時にブックスタートを月1回実施 ・読書週間期間中に小中学生を対象に多読者賞授与 ・読書グループの育成 ・古典読書会（月2回） ・図書館協議会の開催 ・ボランティア等によるおはなし会（中央館・野村分館・三瓶分館で実施） ・中学生高校生の就業体験の受入 ・ホームページ・広報・図書館だより等による情報活動の推進 ・文化祭に参加、新刊書等の展示、図書利用カードの呼びかけ ・移動文庫の推進（公民館等配本） ・ブックトーク等の読書啓発 ・研修会等に参加 ・夏時間（7月及び8月）午後7時まで開館 <p>【成果】</p> <p>図書利用カード普及促進の効果で25年度登録者数11,548人と1年間に783人の増加で、市全体の28%を占め、およそ市民3人に1人が登録していることになる。図書館利用として貸出のみにとどまらず、長時間滞在型の図書館としての利用者数も増加している。併せて電算システムも順調に利用率が高まっている。また、読書活動推進により、学校、各団体、公民館等関係機関の連携が強まっている。</p> <p>【課題】</p> <p>図書館は社会教育の機関であり、地域を支える情報の拠点であるため、市民の要望にあった図書館資料を提供できるよう努める。今後も図書利用カードの普及啓発に努め読書人口を増加させる。</p>						

事業名	総合センターしろかわ維持管理事業			所管課	城川教育課		
				費目	社会教育施設運営管理費		
事業費	6,549	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
						106	6,443
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>城川中央公民館的な機能を有する建物であり、城川地区内で唯一大ホールを備え、市民の文化活動の交流拠点施設として、文化団体を中心に広く利用している。また、城川地区内はもとより市内の各種講演会及び会議等にも多く利用している。</p> <p>今年度は老朽化に伴い、高圧受電設備・空調設備等の改修工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会議室・会議室4部屋・図書室等の部屋がある。 ・城川文書館及び西予市消防署城川出張所の事務所としても利用している。 <p>(利用状況)</p> <p>平成22年度・・・6,408人 平成23年度・・・6,822人 平成24年度・・・5,871人 平成25年度・・・3,172人 ※改修工事により利用制限あり</p>  <p>【成果】</p> <p>城川地区の中心的な文化活動施設であり、市民の生涯学習の場として広く提供し、地域コミュニティの推進に寄与している。一部改修を実施したことで利便性が増した。</p> <p>【課題】</p> <p>城川町の文化活動拠点施設でありながら、建築後40年が経過し、老朽化が目立っており、計画的な改修を要する。また、利用者の高齢化に伴い、2階へのエレベーターがなく早急なバリアフリー化が望まれる。</p>						

事業名	地区別人権・同和教育懇談会事業			所管課	生涯学習課 明浜・野村・城川・三瓶教育課																	
				費目	人権教育費																	
事業費	1,032	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源															
							1,032															
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】</p> <p>愛媛県人権教育協議会西予支部の各分会（5分会）と西予市が委託契約を結び実施している。</p> <p>各分会は人権・同和教育を推進するにあたり集落等单位で学習活動を実施している。</p> <p>ふれあい人権教育懇談会（明浜）、草の根学習会（宇和）、小集落人権・同和教育学習会（野村）、城川人権懇談会（城川）、人権ふれあい懇談会（三瓶）がそれぞれにあたる。</p> <p>各分会が学習活動が実施しやすいよう年度当初に推進講師、推進員を委嘱。集落の代表者等とスケジュール調整し、学習会を開催している。</p> <p>内容は同和問題、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、エイズ患者・HIV感染者、ハンセン病患者・回復者、北朝鮮による拉致問題等様々である。</p> <p>推進講師は1人1回3千円、推進員は1人1回千円</p> <p>25年度の実施結果は以下のとおり</p> <table border="0"> <tr> <td>・ふれあい人権教育懇談会</td> <td>7回</td> <td>146人</td> </tr> <tr> <td>・草の根学習会</td> <td>78回</td> <td>1,751人</td> </tr> <tr> <td>・小集落人権・同和教育学習会</td> <td>11回</td> <td>291人</td> </tr> <tr> <td>・城川人権懇談会</td> <td>60回</td> <td>1,028人</td> </tr> <tr> <td>・人権ふれあい懇談会</td> <td>19回</td> <td>292人</td> </tr> </table> <p>【成果】</p> <p>175回の学習会を実施し延べ3,508人の参加者があり、学びの場が提供できた。最近の手法として、視聴覚教材を見るに止まらずディスカッションの時間を取り、参加者の意識の変化を確認できるよう努めている。</p> <p>【課題】</p> <p>地区の急速な過疎化、高齢化が進む中、参加者の固定化がみられる。また、学校再編を進める中、この事業と両輪で進めている校区別人権・同和教育懇談会事業において従来の参加者数が望めなくなっているのも事実である。学習機会が減少しないよう努めるとともに、住民が参加しやすい内容の検討や、今後職場など新たな領域での啓発の場の開拓を図らなければならない。</p>							・ふれあい人権教育懇談会	7回	146人	・草の根学習会	78回	1,751人	・小集落人権・同和教育学習会	11回	291人	・城川人権懇談会	60回	1,028人	・人権ふれあい懇談会	19回	292人
・ふれあい人権教育懇談会	7回	146人																				
・草の根学習会	78回	1,751人																				
・小集落人権・同和教育学習会	11回	291人																				
・城川人権懇談会	60回	1,028人																				
・人権ふれあい懇談会	19回	292人																				

事業名	人権のつどい事業			所管課	生涯学習課		
				費目	人権教育費		
事業費	756	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
				509			
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】</p> <p>人権意識を高め、人権問題への関心を深めるため、市内3箇所(宇和、野村、城川)で「西予市人権のつどい」を実施した。なお、宇和会場と野村会場は人権啓発活動地方委託事業として実施した。</p> <p>対象は行政・団体、企業関係者等を中心に全市民。 内容は講演会や人権コンサート等。</p> <p>○宇和会場 387千円 6月22日(土) 江嶋修作(解放社会学研究所所長) 「もう少し『ひと』を大事にする世の中に～人権・同和教育から学ぶもの～」 宇和文化会館大ホール 610人</p> <p>○野村会場 220千円 6月30日(日) 渡辺哲雄(NPO法人東濃成年後見センター理事長) 「人権を考える ～それって差別? 区別?～」 野村乙亥会館アリーナ 200人</p> <p>○城川会場 149千円 7月6日(土) 鈴木君代(シンガーソングライター・真宗大谷派僧侶) 「いのちの花を咲かせよう」 城川中学校体育館 232人</p> <p>合併前から宇和、野村、城川で実施されていた講演会を含むイベント型の人権啓発事業を継承。 人権啓発推進法等により、2会場についてはより質の高い取り組みができるように法務省主管事業である人権啓発活動地方委託事業として実施した。</p> <p>【成果】 アンケートを同時に実施。講演から学ぶものが多かったという感想が聞かれ、人権について考える機会となっていることは明らかであり、開催の効果は充分ある。</p> <p>【課題】 委託事業の見直しが行われ、事業内容の見直しが迫られている。今後3会場を維持するための予算確保が必要である。</p>						

事業名	愛媛県人権教育協議会西予支部 補助事業			所管課	生涯学習課		
				費目	人権教育費		
事業費	5,202	財 源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							5,202
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】</p> <p>人権と共生の社会を実現するため、同和教育を中核とした人権教育の研究と実践に努めることを基本理念に活動を進めた。活動の基本となる各町単位の分会活動費(2,160千円)をはじめに、研修費(961千円)により各大会への派遣を行った。また、県大会(松山市)、四国大会(高松市)、全同教大会(徳島県)等に参加した。</p> <p>前年度5年ぶりに実施した意識調査の報告書を分析し、それに基づき平成25年度の啓発の方向性を示した。さらに、啓発活動費(1,056千円)では人権作品集18,000部を発行し、市内全戸に配付するとともに啓発教材を購入利用し、啓発に努めた。</p> <p>年3回、愛媛県人権教育協議会から発行される「えひめ人権・同和教育」は各2,000部を購入し、市内の学校や社会教育関係機関や本市人権・同和教育推進講師、推進員に配付し学習会等での活用を促し、個人の自己啓発を進めた。</p> <p>しかしながら、いずれの費目にしても財政難を理由に予算が縮小されたため、啓発活動をいかに効率よく行うか思案しながらの活動となった。</p> <p>【成果】</p> <p>各大会においては、県・四国・全国レベルでの実践報告や講演を聞くことにより、参加者それぞれが人権意識を深めることができた。</p> <p>また、地区別懇談会では5年ぶりに実施した市民意識調査の結果を、前回(平成20年)と比較分析し学習資料として活用することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>合併以来、様々な人権問題に関する学習会は旧町の地域特性を生かした取り組みを進めてきているところであるが、徐々に西予市としての一体感も醸成してきている。今後、市としての体制づくりをどうするか論議が必要とされるところである。この協議会は、人権対策連絡協議会、市長部局、教育委員会との効果ある連携も模索しなければならない。まずは「人権尊重のまちづくり条例」を念頭に置きながら、教育啓発の機会の拡充を図るとともに、その内容の充実に努め、豊かな人権文化の構築をめざすことが必要である。</p>						

事業名	市青少年健全育成事業			所管課	生涯学習課		
				費目	青少年育成費		
事業費	2,113	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							2,113
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>○市青少年補導員活動事業 1,329千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な街頭補導: 123回、出動した補導員数 延べ403人 ・各地区のお祭り(行事)での補導活動(移動補導センター回数: 20回) ・声かけ・指導した少年の数 63人 <p>○市青少年育成協議会事業 660千円</p> <p>目的に賛同する市内の青少年関係団体(機関)により協議会を構成し、情報交換等を行い、青少年の健全育成に取り組む。</p> <p>○市補導センター運営事業 124千円</p> <p>青少年健全育成活動の充実と各種研修会等への参加</p> <p>○人づくりを考える集い開催事業 0円(市PTAと隔年で実施する。)</p> <p>市PTA大会と共催し、青少年健全育成意識の向上のための講演会を開催</p> <p>【成果】</p> <p>25年度の街頭補導では、警察・学校関係機関と連携して実施したことにより補導するような少年は出なかった。</p> <p>市青少年育成協議会の定例委員会及び各支部の協議会が定期的に開催され、協議された内容が実行へと移された。また、育成協議会の活動方針の主要施策である「あいさつ運動」を各支部協議会と連携し運動を展開することができた。</p> <p>各青少年関係機関・団体と青少年の非行状況や問題点などの情報交換が実施できた。</p> <p>人づくりを考える集いの来場者は、平成25年度においても650人あり、市民に定着した集会となっている。また、参加者を対象にしたアンケート結果でも「良かった」との回答が約8割をしめ、市民にとって関心が高い集会となっている。</p> <p>家庭・学校・地域社会が連携し、市民一人一人の青少年育成に対する理解と認識が深められた。</p> <p>【課題】</p> <p>次代の担い手となる青少年の育成は行政の責務であり、家庭・学校・地域社会が連携し、市民一人一人が青少年育成に対する理解と認識を深め、これから自分たちに何ができるかを考え、実践に結び付けていく必要がある。</p> <p>また、青少年を取り巻く環境は、有害情報の氾濫、青少年の健全育成を阻害する有害環境が刻々と複雑多様化してきているため、有害図書の点検・排除(白ポスト)や正しいインターネット・携帯電話の利用等の指導に努める必要がある。</p>						

○社会教育費の主な事業

平成25年度決算(単位:千円)

事業名	野村地域教育福祉複合施設建設事業			所管課	生涯学習課		
				費目	社会教育施設建設費		
事業費	43,484	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
					33,600		9,884
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>1階に図書館、2階に学童保育施設及び児童館を建設し子育て支援の推進を図る。また、敷地内に小学校再編に伴うスクールバス回転場及び駐車場を整備するために、建設スペースを確保する。</p> <p>【成果】</p> <p>平成25年度において、野村地域教育福祉複合施設建設に伴う基本設計委託及び地質調査並びに測量設計委託業務、敷地造成工事を実施した。</p> <p>【課題】</p> <p>今後は実施設計に着手し施設建設工事を行う。また、施設の管理運営等について協議を進めていく必要がある。</p>						

(6項) 文化振興費

西予市教育基本方針に基づき、特色ある西予市の自然や文化に誇りを持ち、これらを守り育てる態度を育てるとともに、新しい文化の創造に寄与する市民を育成して文化の薫り漂うまちづくりに努めた。

○文化振興費の主な事業

平成25年度決算(単位:千円)

事業名	文化協会補助事業			所管課	文化体育振興課		
				費目	文化振興総務費		
事業費	3,110	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							3,110
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西予市社会教育推進事業費補助金要綱に基づき、西予市文化協会へ補助金を支出する。(本会：230千円、明浜支部：686千円、宇和支部：548千円、野村支部：490千円、城川支部：686千円、三瓶支部：470千円) ・組織構成：会長1人、副会長：2人、理事：(各支部長1人、各副支部長1人)、事務局長1人(職員)、事務局：(職員)、監事：2人 ・個人の生きがいづくりや地域の活性化に貢献するとともに、伝統芸能等の披露の場としての事業を実施し、発表の場の提供を行った。 ・平成25年度は、以下の主催・共催事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ①明浜俳句大会 ②明浜ふる里芸能祭 ③宇和町文化祭・ふるさと芸能祭 ④野村町文化祭 ⑤奥伊予ふるさと祭 ⑥三瓶町文化祭 ⑦1日研修(宇和・明浜・城川・三瓶支部) <p>【成果】</p> <p>西予市総合文化祭を開催し、各支部それぞれ特色ある文化祭を開催した。各支部で各種発表会や大会等を実施し、伝統文化の継承と後継者の育成に努めた。</p> <p>【課題】</p> <p>会員が高齢化のため文化活動を伝承していくためには、補助金は不可欠である。補助金の基準については、旧町からの継承であるため、統一した基準が必要であるが、会費の徴収等各支部でまちまちのため今後統一していく必要がある。</p> <p>西予市文化協会として統一した活動の展開が必要であるが、それぞれの支部で文化活動を展開しているため現在のところ困難であるが、今後検討していく必要がある。</p>						

事業名	宮中雲子音楽祭補助事業			所管課	三瓶教育課		
				費目	文化振興総務費		
事業費	2,100	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							2,100
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>平成10年度から、本市出身の詩人宮中雲子先生の第8回サトウハチロー賞受賞を記念し合唱コンクールを開催して今年度で15回目を数える。コンクールの部(少年少女の部・一般の部)及びフェスティバルの部(無審査、講評有)で構成し市内外からの参加を募っている。</p>  <p>【成果】</p> <p>県内外の高いレベルの団体の参加により、より多くの方々に高いレベルの音楽に触れていただくことで、本市の音楽レベルの向上と豊かな心の醸成が図られるとともに、県内外で人気のある音楽祭となっており、その場を本市が提供しているということで、市のイメージアップに繋がっている。</p> <p>【課題】</p> <p>市内の参加団体が少ない。さらにより多くの市内団体に参加いただくよう工夫が必要である。</p>						

事業名	文化財保護審議会事業			所管課	文化体育振興課		
				費目	文化財保護費		
事業費	392	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							392
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】</p> <p>市内有識者15人を委嘱し、文化財の指定、指定文化財の維持管理等に関する調査、協議を行う。平成25年度は、審議会を2回開催した。</p> <p>(主な経費)</p> <p>報酬 392千円(文化財保護審議会委員報酬)</p> <p>【成果】</p> <p>文化財の指定、維持管理等に関する調査、協議等を行い、文化財の維持管理につなげることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>指定文化財や指定候補物件の確認、審議会委員の資質向上などの目的で、毎年1回市内文化財の視察研修を行っているが、審議会委員の資質向上に向けた取り組みも検討していく必要がある。また、近年は専門的見地からの意見が求められる場合も多く、人材の発掘、専門家の積極的な登用などを検討する必要性も感じられる。</p>						
							
	文化財保護審議会の様子						

事業名	文化財保護推進事業			所管課	文化体育振興課		
				費目	文化財保護費		
事業費	1,371	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							1,371
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】</p> <p>野村町平野の松の窪堂（市指定）の修理を進めたほか、維持管理等に関する補助を支出。また、平成23年度の調査及び文化財保護審議会で協議した基準に基づき、指定文化財に設置された名称・説明看板等を更新、修理した。そのほか城川地区では、市指定文化財所有者・管理者に文化財保存委託料を支出した。</p> <p>（主な経費）</p> <p>○宇和 1,107千円 謝金 55千円 旅費 151千円 需用費 175千円（指定文化財案内板修繕） 役務費 11千円 委託料 710千円（指定文化財看板、標柱作成委託料、遺物運搬） 使用料 5千円</p> <p>○城川 232千円 委託料 232千円 （文化財保存委託料[窪野八ツ鹿踊り保存会他24件]）</p> <p>○三瓶 32千円 需用費 32千円</p> <p>【成果】</p> <p>指定文化財の維持管理等に対し補助等を行い、文化財の維持管理につなげることができた。また、市内指定文化財の説明看板等を更新、修理することで、指定文化財の周知や利用者の便の向上を図ることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>予定していた指定文化財の説明看板の修繕、新調は完了したが、その後未修繕の説明看板が数点確認されたものもあるため、今後更新を行う必要がある。</p> <p>西予市の指定文化財は、市指定物件だけで200件を越える（県内最多級）が、一方で指定基準や補助金の支給基準は統一されていない。これは合併時に旧町の指定文化財をそのまま引き継いだことによるが、合併後10年近くが経過し、各基準の統一が求められているほか、指定範囲や内容が曖昧なもの見直しは急務である。分野毎に悉皆的に専門家による調査を行うことで、指定文化財の再評価を行うとともに、これまでに埋もれていた文化財の新たな価値を掘り起こすことが必要である。</p>						



市指定記念物 黒瀬川鍾乳洞 (城川町下相) 看板修繕




市指定有形文化財 馬頭観音像 (明浜町俵津) 看板新調



国登録有形文化財 三瓶隧道 (宇和町郷内) 看板新調、三瓶文化会館に設置

事業名	俵津文楽育成事業			所管課	明浜教育課		
				費目	文化財保護費		
事業費	241	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							241
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>愛媛県指定無形有形文化財である俵津文楽の保存伝承活動の支援を行った。</p> <p>俵津文楽は、嘉永5年に始まり、愛媛県下においても最も古く、160年の伝統を持っている。時代の変遷の中で地域の人々の生活とかかわり、そのぬくもりの中で息づきながら歴史を重ねている。</p> <p>価値観が多様化している現在、世間の人々から忘れられようとしているこの古典芸能の人形浄瑠璃を継承し後世に伝えていくため、下記の事業を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①日本古来の伝統文化である文楽の伝承活動のため、人形遣い・義太夫・三味線の技芸の習得 ②人形衣装の修繕 ③愛媛県下の文楽4座による文楽合同公演会を実施し、技芸の発表の場を設定 ④野福峠さくらまつり・芸能祭等の地域行事への参加 ⑤大阪朝日カルチャーセンター義太夫教室との交流活動 ⑥明浜中学校3年生に「傾城阿波の鳴門」を指導 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県最古の文楽がこの地にあることが、地域の活性化につながっている。 ・文楽に携わる活動としての集まり・コミュニティ形成に寄与している。 ・地域も座員も伝統文化の保存伝承に対する意識が根付いている。 <div data-bbox="507 1330 1283 1765" data-label="Image"> </div> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常日頃から後継者の育成と発掘に力を注ぐ必要がある。 ・三味線、義太夫等の技芸の習得には数年かかり、また、その指導者も少ない状況である。 ・人形の修繕や技芸習得への研修には、多くの経費が必要である。 						



事業名	民俗文化財保存事業(茶堂)			所管課	文化体育振興課		
				費目	文化財保護費		
事業費	1,623	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							1,623
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>市内に所在する茶堂を修復するために実施する茶堂整備事業に係る経費の一部を、整備実施団体へ補助金交付する。</p> <p>茶堂は、地域住民の心の豊かさや優しさをあらわすものであり、大師講・巡礼講組施餓鬼、虫送り念仏等の伝承的行事とともに保存伝承に努めている。平成25年度は、以下の3件の茶堂を整備した。</p> <p>①野村町鎌田地区 鎌田茶堂 屋根葺き替え(事業費:735,000円、補助金367千円)</p> <p>②野村町予子林地区 横山茶堂 建替え(事業費:2,079,136円、補助金1,000千円)</p> <p>③城川町川津南地区 程野茶堂 屋根塗装ほか(事業費:512,450円、補助金:256千円)</p> <p>【成果】</p> <p>茶堂の修理・保存することで地域住民の伝承行事への保存意識が図られるとともに、伝承的行事が継承され、地域の活性化に寄与した。また、地域の伝統的な農村景観を構成する茅葺き屋根の維持に向けた働きかけを行い、再検討を促している。</p> <p>【課題】</p> <p>茶堂を中心とした貴重な民俗文化財を保存・伝承するためには必要な事業である。近年は地域の後継者不足もあって茅葺きから瓦葺きでの修理を望む声も多いが、原則的には従来ある形での修理を行う必要がある。補助要綱の見直しも検討する必要がある。西予市文化財保護審議会での審議、地域の理解を仰ぎながら予算の範囲内で計画的に整備を進める必要がある。</p>						
	 <p>完成した横山茶堂</p>						

事業名	朝日文楽保存伝承活動事業			所管課	三瓶教育課		
				費目	文化財保護費		
事業費	593	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							593
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>伝統芸能の保存伝承を行い、年間を通しての練習、愛媛県文楽保存協議会合同公演等の定期公演や出前公演を行う。同時に人形・衣装等の管理、保存、修繕を行う。他に三瓶高校文楽部及びこども朝日文楽クラブの指導による後継者育成に努めている。</p> <div data-bbox="454 792 1356 1384" data-label="Image"> </div> <p>【成果】</p> <p>地域住民にとっては地元の誇りとしてとらえている人も多く、この伝統芸能の保存伝承に努めることはその地域の活性化を持続、再興することでもあり、子供たちへの指導により若い後継者が増えつつある。</p> <p>【課題】</p> <p>ますますの披露の場づくりを積極的に展開し、保存会員の確保を図るとともに、今後も後継者の育成確保に努める等、中長期的に対策を講じることが重要である。また、人形・衣装等の修繕を実施するのに多大の費用が必要である。</p>						

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			所管課	文化体育振興課		
				費目	文化財保護費		
事業費	12,522	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
			2,487			856	9,179
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>開発に伴う緊急目的の試掘調査を行い、埋蔵文化財の保護に努める。</p> <p>市内遺跡詳細分布調査（踏査及び試掘調査等）を行い、遺跡の分布状況を把握し、埋蔵文化財の保護に努める。</p> <p>平成19年度～平成28年度国庫補助事業（国・市が2分の1負担）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度は、以下の事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ①緊急目的の試掘確認調査：4件（農業用倉庫建設、住宅建設、国体に関連した施設整備2件）実施した。 ②遺跡詳細分布調査：市内の遺跡の分布調査（悉皆調査、試掘調査など）を実施した。 ③整理作業：平成25年度の旧野村町地区の分布調査により出土した、遺物の洗浄、復元、記録作成など整理作業を実施した。 ④市内遺跡出土木製品の保存処理：坪栗遺跡、国木遺跡（宇和町山田）出土木製品15点について、保存処理および樹種同定を行った。 ⑤広報で周知の埋蔵文化財包蔵地における手続きを紹介し、市民に周知を図った。 <p>【成果】</p> <p>市内遺跡詳細分布調査により、野村地区で新たな周知の埋蔵文化財包蔵地を3件確認した。また、市指定記念物でもある山城跡3件について、調査によりこれまで明確でなかった包蔵地の範囲を確認、変更した。</p> <p>木製品の保存処理により、弥生時代の鋳未成品などを展示等に活用できるようになった。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内遺跡詳細分布調査（国庫補助事業）を実施中であり、この成果を活用した埋蔵文化財包蔵地の把握と保護に継続的に取り組む必要がある。 宇和地区では埋蔵文化財包蔵地の把握が進んでいるが、他の4町では未だ点的な把握しかできていない箇所が多く、今後の継続した調査が必要である。 鎌田ヶ城跡（野村町鳥鹿野）で、地元住民による過去の無届掘削が問題となった。全ての開発事業を事前に把握できているわけではなく、手続き等の周知も十分とは言えないため、広報や文書で周知を図るとともに、開発申請時に協力を求めることが重要である。 古代ロマンの里推進事業とも連携させながら、出土資料や調査成果の展示公開を積極的に進め、市民の文化財保護意識の向上に取り組む必要がある。 						

事業名	古代ロマンの里推進事業			所管課	文化体育振興課		
				費目	文化財保護費		
事業費	2,484	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
			1,000			1,484	
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】 （西予市埋蔵文化財活用事業） 例年開催している活用事業など国庫補助を活用した西予市埋蔵文化財活用事業を実施した。特に、鬼北町との連携で遺跡めぐりを行い、宇和盆地と鬼北との比較を行った。また、5年目を迎えた葺石体験では、後円部の葺石が完成した。その他、学校の授業や各種団体等の見学、研究材料として笠置峠古墳を見学していただくなど多くの方に古代ロマンの里をご利用いただいた。</p> <p>① 駅からウォーク 平成25年10月27日（日） 46人参加 ② 笠置街道徒歩実験 平成25年11月24日（日） 30人参加 ③ 葺石体験事業 平成26年 3月 2日（日） 50人参加 ④ 「笠置峠古墳の絵葉書」印刷製本業務 ⑤ 市内古墳看板設置工事 ・坪栗遺跡ミニ展示 ・笠置峠古墳イラスト作成 ⑥ 活用事業写真展</p> <p>（主な経費） 賃金 168千円 報償費 295千円 旅費 110千円 需用費 1,157千円 役務費 124千円 工事請負費 473千円</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠置峠古墳を含めた古代ロマンの里の利用者は25年度で1,551人と24年度からやや減少している。 ・笠置峠古墳の葺石体験事業は、5年目で完成した。 ・鬼北町との連携を試み、好評であった。 ・宇和盆地の古墳の標柱等を整備し、遺跡の内容の周知と見学者の利便性向上に寄与できた。これらは市史跡でもあり、指定文化財の看板整備と連携した整備を進めることができた。 ・笠置峠古墳の絵葉書は、活用事業への参加者や県内の文化財行政担当、希望する市民などに配布しPRにつながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坪栗遺跡出土の土器（器台）を中心にミニ展示を行った。引き続き、整理作業の進展にあわせて可能な範囲で実施したい。 ・活動拠点の整備、ナルタキ古墳群の整備等野外拠点の整備も課題である。 ・鬼北町との連携事業の反省点を活かし、内容の拡充を図っていく必要がある。 ・笠置峠古墳の整備後5年目を迎え、経年劣化が見られる部分もあるため、経過観察し対応を検討する必要がある。 						

事業名	宇和文化会館管理運営事業			所管課	文化体育振興課		
				費目	文化施設運営管理費		
事業費	36,555	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
						398	36,157
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>指定管理者の一般財団法人宇和文化会館が、本会館の管理運営委託の協定に基づく、芸術文化事業や集会事業、貸館業務を行った。</p> <p>(自主事業)</p> <p>○コンサート 「平原綾香コンサート」(7/7)「A Iコンサート」(12/10) 「葉加瀬太郎コンサート」(10/11)</p> <p>○公演 「宝くじふるさとワクワク劇場 in 西予」(9/1) 市民劇団もんたかな旗揚げ公演「おひさまのせなか」(10/27)</p> <p>また共催事業で2コンサート、2公演、「第9回ふれあい歌謡祭」や「第7回レインボー合唱祭」等のイベントを支援した。</p> <p>本施設は宇和地区内はもとより、市内の各種講演会及び会議等にも、多く利用されている。</p> <p>施設として、大・中ホール・和室2室・茶室・研修室・創作活動室・ラウンジ・エントランスロビー・事務室があり、利用者が目的に応じて使用している。</p> <p>(利用状況) …貸館と自主・共催事業の利用者計</p> <p>平成23年度 47,596人 平成24年度 44,194人 平成25年度 48,025人</p> <p>(主な経費)</p> <p>文化会館運営委託料 36,555千円</p> <p>【成果】</p> <p>市内最大の文化活動施設であり、市民の憩いの場として広く提供し、地域コミュニティの推進に寄与している。前年度市民劇団として立ち上げた、劇団「もんたかな」は自主自立の取組で今後の活動に弾みがついた。</p> <p>【課題】</p> <p>平成3年の開館以来22年が経過し、建物の老朽化が進んでいる。また、空調設備なども経年劣化で、支障が出ているため、早急に修理に取り組む(平成26年度)。</p> <p>また舞台照明や音響関係は修理経費が大きいので、計画的な修理に努めなくてはならない。</p>						

事業名	全国かまぼこ板の絵展覧会事業			所管課	城川教育課																										
				費目	文化施設運営管理費																										
事業費	14,650	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源																								
						1,863	12,787																								
事業内容	【事業内容・実施状況等】 絵は「いつでも、誰でも、何にでも描ける」ことを、かまぼこ板に絵を描くことで提案し、その作品を美術館に展示することにより、個性の輝きを認め合い心の交流を図る。 (平成25年) 2/1~4/20 作品公募、5/29~5/31 一次審査、6/1~6/2 本審査、6/12 入賞発表、7/28 表彰式、7/20~12/8 展覧会開催。 過去5ヵ年の実績																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>応募作品数</th> <th>応募者数</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第15回(平成21年度)</td> <td>11,345</td> <td>21,171</td> <td>16,875</td> </tr> <tr> <td>第16回(平成22年度)</td> <td>11,801</td> <td>21,949</td> <td>15,451</td> </tr> <tr> <td>第17回(平成23年度)</td> <td>12,192</td> <td>22,464</td> <td>16,137</td> </tr> <tr> <td>第18回(平成24年度)</td> <td>11,708</td> <td>21,572</td> <td>13,064</td> </tr> <tr> <td>第19回(平成25年度)</td> <td>11,399</td> <td>21,201</td> <td>13,791</td> </tr> </tbody> </table>								応募作品数	応募者数	入館者数	第15回(平成21年度)	11,345	21,171	16,875	第16回(平成22年度)	11,801	21,949	15,451	第17回(平成23年度)	12,192	22,464	16,137	第18回(平成24年度)	11,708	21,572	13,064	第19回(平成25年度)	11,399	21,201	13,791
		応募作品数	応募者数	入館者数																											
	第15回(平成21年度)	11,345	21,171	16,875																											
	第16回(平成22年度)	11,801	21,949	15,451																											
	第17回(平成23年度)	12,192	22,464	16,137																											
	第18回(平成24年度)	11,708	21,572	13,064																											
	第19回(平成25年度)	11,399	21,201	13,791																											
																															
																															
【成果】 山の中の小さな町からの芸術文化を発信することにより、西予市及び城川の話題性も高まり、全国の人々を呼び込むことによる経済効果は大きいものがある。タレントの萩本欽一さんが当館でロケを行いかまぼこ板の絵にまつわる7つの実話を基にした再現ドラマ5分番組が日本テレビ系列で全国放送されたほか、かまぼこ板の絵と応募者を取材したNNNドキュメント‘13や当館からのラジオ生放送、BSフジ番組など全国に向けた情報発信ができた。愛媛大学医学部出張展示では医院長をはじめ医師や職員、患者から多くの好反響を頂いた。応募者や来館者との繋がりを大切にすることでギャラリーしろかわや西予市の認知度アップに貢献できた。																															
【課題】 新聞、テレビ等のメディアで積極的にPRしていただいているが、さらに「ギャラリーしろかわ」へ来館していただけるよう、道路沿いの案内看板やホームページなどでのアクセス情報も増やしていきたい。																															

事業名	三瓶文化会館管理運営事業			所管課	三瓶教育課		
				費目	文化施設運営管理費		
事業費	18,139	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
						3,061	15,078
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>三瓶東公民館の機能を有する建物でもあり、三瓶地区内で唯一大ホールを備え、市民の文化活動の交流拠点施設として、文化団体のサークル活動を中心に広く利用している。三瓶地区内はもとより市内の各種講演会及び会議等にも、多く利用している。</p> <p>また、施設内容は広域学習ホール・リハーサル室・創作室・視聴覚室・研修室・会議室・和室・調理室・図書室(館)等を整備している。</p> <p>(利用状況)</p> <p>平成24年度・・・ 35,026人</p> <p>平成25年度・・・ 29,145人</p>						
	 <p>【成果】</p> <p>三瓶地区の中心的な文化活動施設であり、市民の憩いの場として広く提供し、地域コミュニティの推進に寄与している。</p> <p>【課題】</p> <p>三瓶町の文化活動拠点施設として、平成2年10月に建物が完成した。しかし、機器等を含む施設の老朽化により維持管理が難しくなっている。</p> <p>音響・照明機材・プラネタリウム番組を含め、適時機器更新につとめ市民に新しいプログラムを提供し、より使いやすい施設づくりを目指したい。</p>						

事業名	開智・開明学校姉妹館交流青少年 派遣事業			所管課	文化体育振興課		
				費目	文化の里振興費		
事業費	1,000	財 源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							1,000
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>昭和62年に旧宇和町の旧開明学校と長野県松本市の旧開智学校とが姉妹館提携を締結したことを記念して、平成19年までの20年間、宇和中学校生が松本市へ修学旅行で訪問していた。平成20年度から西予市内の中学2年生を対象にして、松本市中学生との交流を深めるとともに松本市などの歴史・文化や自然について学ぶ事業として実施している。平成25年度で7回目を迎えた。</p> <p>(日 程) 平成25年8月5日(月)～9日(金)</p> <p>(内 容) 8月6日(火) 松本市中学生交流・市内散策、旧開智学校見学 8月7日(水) 上高地散策、乗鞍岳星空観測 8月8日(木) 乗鞍岳ご来光鑑賞、塩尻市奈良井宿散策 *5日(月)、9日(金)は移動日</p> <p>(主な経費) 報償品費 21千円 旅費 814千円(宿泊費、旅行代金) 需用費 132千円 役務費 31千円</p> <p>また、松本市訪問前に参加生徒を対象とした研修会と参加生徒及び保護者を対象とした事業説明会を実施した。</p> <p>(日 程) 平成25年7月30日(火)</p> <p>(内 容) 開明学校での模擬授業体験、卯之町町並み散策、事前研修など。 また、事業終了後には参加生徒から提出された感想文をもとに文集を作成し、松本市や市内中学校に配布した。</p> <p>【成果】</p> <p>参加者は、松本市の中学生との交流や松本などの歴史・文化や自然などを体感することで、西予市との違いや文化や自然の多様さを学ぶことができた。また中学校の枠を越え他校の生徒との交流を深めることできた。</p> <p>【課題】</p> <p>やむを得ないが、乗鞍岳での研修は天候に左右されるため、悪天候の場合の研修内容を検討しておく必要がある。</p> <p>松本への訪問日程については、8月上旬の実施が望ましい。</p> <p>奈良井宿散策について、今回取り入れた研修ということもありポイントを十分に把握しきれていなかった。次回は卯之町の町並みと比較できるよう、ガイドを依頼する等工夫が必要である。</p>						

事業名	朝日文楽会館建設事業			所管課	文化体育振興課		
				費目	文化振興施設建設費		
事業費	9,019	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
					7,500		1,519
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>県指定無形民俗文化財・朝日文楽の保存伝承、後継者の育成並びに県指定有形文化財・朝日文楽人形頭・衣裳道具一式等を保護するための本施設は、平成24年度の基本構想答申後、多目的使用の用途を加味し、集会場用途とした。25年度には施設名称を「朝立会館」とし5回の建設準備委員会を経て、実施設計がまとまった。</p> <p>(主な経費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 (8,730千円) 測量・設計・監理委託料(市単分) 7,890千円 備品設計委託料 840千円 ・手数料(構造計算・建築確認等) (248千円) ・需用費外 (41千円) <p>【成果】</p> <p>鉄骨造り2階建て 延床面積762.46㎡(1階728.62㎡、2階33.84㎡)の規模(内装木質化)とし、平成26年度内の完成をめざすことになった。なお26年度当初予算を365,076千円とした。</p> <p>【課題】</p> <p>当初の計画より予算が膨らんだため、管理運営計画については今一度精査する。限られた財源が効果的に執行できるよう、不足分については年次整備することも考えていかねばならない。</p>						

(7項) 保健体育費

西予市教育基本方針のもと、生涯の支えとなる強い意志とたくましい体力を育てるための健康教育を推進するとともに、えひめ国体開催（平成29年）を見据え、西予市スポーツ振興計画に基づき「スポーツ立市」実現の取組に努めた。

○保健体育費の主な事業

平成25年度決算(単位:千円)


事業名	宇和文化の里駅伝競走大会開催事業			所管課	文化体育振興課		
				費目	保健体育総務費		
事業費	120	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							120
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】 実行委員会を立ち上げ、運営を委託している。 (主な経費) 委託料：120千円 大会は、1部・2部（40歳以上の男性及び学生・生徒以外の女性）、3部（55歳以上）、女性の部（学生・生徒以外）の4部門（各部門とも1チーム5人）で、県内各教育委員会及び前年度参加チームに開催要項を送付する他、市ホームページにも掲載し、参加チームを募集している。 参加料は1チーム7,000円で、昼食に宇和米のおにぎりとし市内産材料を使った豚汁を提供し、参加者から好評を得た。</p> <p>【成果】 79チームの出場（参加申し込み：82チーム）があり、中高齢者男性と女性の駅伝愛好者の交流及び体力向上が図られた。</p> <p>【課題】 近年の駅伝・マラソンブームにより参加チームが増加しているので、駐車場の確保やレース中の安全対策等に注意する必要がある。</p>						

事業名	スポーツ教室開催事業			所管課	文化体育振興課国民体育大会準備室		
				費目	保健体育総務費		
事業費	1,204	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
						520	684
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】</p> <p>スポーツ教室を開催し、競技スポーツの底辺拡大とえひめ国体へ向けた意識向上を図る。</p> <p>平成25年度は、コーディネーショントレーニングを主としたスポーツ教室を年3日計6回（1日×2回）開催した。</p> <p>市内の親子・指導者を対象とした教室を実施し、脳を刺激するトレーニングをすることにより、神経系の働きを高め運動能力の向上を図れることを楽しく学ぶことができた。</p>						
	<div data-bbox="464 831 1321 1395" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">親子スポーツ教室の開催状況</p> <p>【成果】</p> <p>指導者にとって、今までと違った視点でのトレーニング方法を学ぶことにより、今後の指導方法の幅が広がるとともに、より多くの子どもたちの能力を引き上げることが可能であることを得ることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>スポーツ教室で学んだ技術を活用した競技スポーツの底辺拡大を図りたいが、指導者が少ないため西予市単独での教室の開催が困難である。</p> <p>今後は、指導者の育成も視野に入れた教室を展開していく必要がある。</p>						

○保健体育費の主な事業

平成25年度決算(単位:千円)

事業名	全国大会出場選手支援事業			所管課	文化体育振興課		
				費目	保健体育総務費		
事業費	1,690	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							1,690
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>県予選等を経て全国大会へ出場する選手等へ15,000円、国体・国際大会へ出場する選手等へ20,000円(団体競技の場合は上限50,000円)の報償金を交付する。また、高校生以下の選手については、懸垂幕も作成・掲出して市民に周知する。</p> <p>平成25年度実績 : 報償金 68件 懸垂幕 22本</p> <p>【成果】</p> <p>全国大会等出場選手の意識高揚に効果は大であり、全国大会等での活躍に期待する市民への周知にも貢献している。</p> <p>【課題】</p> <p>全国大会等に出場した選手の情報がつかめない場合があり、出場後の申請となる場合がある。</p> <p>また、高校総体等の出場選手が多数ある場合、懸垂幕の掲出場所が限られるため、連名での作成となってしまう場合がある。</p>						
事業名	スポーツ立市振興計画管理事業			所管課	文化体育振興課		
				費目	保健体育総務費		
事業費	2,608	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							2,608
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>西予市スポーツ振興計画「スポーツ立市せいよ2017」を実現させるため、臨時職員を雇用し、アシスタントマネージャーの資格を取得、旧町単位に総合型地域スポーツクラブの設立を目指し、スポーツクラブづくりを通じた自治意識の醸成と地域づくりを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>西予市総合型地域スポーツクラブ連絡会議を開催し、市内各クラブの情報の共有化と、各クラブの活動状況に応じた指導、活動支援ができた。</p> <p>【課題】</p> <p>宇和、三瓶、野村地域に総合型地域スポーツクラブが設立し、残る明浜、城川地域の設立に向けての体制づくりと、既存団体への支援の充実を今後検討する必要がある。</p>						

事業名	朝霧湖マラソン大会支援事業			所管課	野村教育課		
				費目	保健体育総務費		
事業費	1,500	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							1,500
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>毎年5月3日の憲法記念日に乙亥会館前をスタート・フィニッシュに開催し、今年度で22回目。本大会より、ハーフマラソン・ロード10kmを部門別で実施。1月下旬から昨年参加者へのダイレクトメールの発送、全国版のランニング雑誌、市ホームページに募集要項を掲載し、参加を呼びかける。</p> <p>大会スタッフは市職員、地元住民、中高生に呼びかけ400人を超えるボランティアに協力をいただき「おもてなし日本一の大会」を合言葉に大会運営にあたる。参加者には野村町特産の搾りたて牛乳の無料提供、乙亥会館内にある「カロト温泉無料券」などを参加賞として配布。また、レース終了後には、地元特産品(米、キュウリなど)をメインとした飛び賞抽選会の実施、大会終了後には完走者のレース中のスナップ写真の無料発送なども行っている。</p> <p>【成果】</p> <p>最近のマラソンブームの追い風を受け、5kmロードを廃止した中でも、2,599人に上った。(参加者内訳:1都、2府、27県:男子.1,968人、女子.631人)本大会には、中村愛媛県知事もハーフマラソンの部にエントリーいただき、また、長谷川副知事も昨年同様参加いただき、大会に花を添えていただいた。また、観光協会野村支部と連携し、2017愛媛国体開催に向けた民泊、前夜祭等も実施し、マラソン大会実行委員会及び地域住民との交流を深めた。併せて、朝霧湖マラソン大会実行委員会が主体となり、県内マラソン大会(自治体)に呼びかけ「第1回マラソンサミット in えひめ」を開催し、各大会の情報交換を行った。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> マラソンコースが市道など多岐にわたっていることから、参加者数の増加に伴い参加者数の制限やコースの変更なども検討する必要がある。 						
							

事業名	城川オリンピック開催事業			所管課	城川教育課		
				費目	保健体育総務費		
事業費	1,028	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
						10	1,018
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>毎年10月第2日曜日に、遊子川・土居・高川・魚成の4地区の親睦と融和を図ることを目的に開催している。事業は、西予市体育協会城川支部主催で4地区対抗の運動会で、今回で47回を迎えている。応援合戦やパネル展示などそれぞれの地域の特色を生かし盛大に開催している。</p> <p>競技種目では、「竹馬競争」や「チャンポン競争」等ユニークな競技を取り入れ、大会を盛り上げている。</p>  <p>【成果】</p> <p>城川の市民が一堂に会して、スポーツに親しみ、市民同士の交流と親睦を深めることができ、地域コミュニティの推進を図ることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>少子・高齢化により選手の確保が年々厳しくなっている。 競技種目を変更するなど、種目のマンネリ化の解消に努める必要がある。</p>						

○保健体育費の主な事業

平成25年度決算(単位:千円)


事業名	総合スポーツクラブ補助事業			所管課	文化体育振興課		
				費目	保健体育総務費		
事業費	991	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							991
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>西予市総合型地域スポーツクラブ育成振興補助金交付要綱に基づき、総合型スポーツクラブ活動支援のため補助金を交付する。</p> <p>①文化の里スポーツクラブ 50千円</p> <p>②三瓶スポーツクラブ 472千円</p> <p>③のむらスポーツクラブ 469千円</p> <p>【成果】</p> <p>各クラブの運営に援助をし、クラブ活動推進に努めた。</p> <p>【課題】</p> <p>クラブ毎の魅力ある事業展開を支援し、クラブ会員の増加を目指すことが今後の課題である。</p> <p>また、総合型地域スポーツクラブ設立後5年間のスポーツ振興くじの助成期間終了後について、健全で安定的なクラブ運営に向けての支援体制の構築が必要である。</p>						

○保健体育費の主な事業

平成25年度決算(単位:千円)

事業名	宇和運動公園管理運営事業			所管課	文化体育振興課		
				費目	体育施設費		
事業費	22,332	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
						3,039	19,293
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>西予市におけるスポーツの振興を図り、市民の健康増進及び体力向上に資するために、宇和運動公園内各施設を管理する。</p> <p>施設の管理運営方法として、嘱託職員を3人雇用し、また、管理・清掃業務を2団体に委託している。</p> <p>(主な施設)</p> <p>①体育館 ②陸上競技場 ③テニスコート ④多目的広場 ⑤プール(7月1日～8月31日)</p> <p>(利用状況)</p> <p>平成24年度・・・157,045人 平成25年度・・・159,784人</p> <p>【成果】</p> <p>施設利用者数は年々増加しており、平成25年度は延べ159,784人の利用があり、健康増進、体力向上に役立っている。</p> <p>【課題】</p> <p>各施設とも老朽化が進んでおり、平成29年のえひめ国体開催施設と関連施設は国・県の補助を受け改修を行うが、その他の施設の修繕、改修及び適切な維持管理が必要である。</p>						

事業名	野村運動公園管理運営事業		所管課	野村教育課			
			費目	体育施設費			
事業費	8,477	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
						549	7,928
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>野村運動公園の安全運営のため、施設の維持管理を行う。</p> <p>(主な施設)</p> <p>①多目的グラウンド 5,329.99㎡ (ソフトボール、軟式野球、サッカー、小学校陸上記録会等で利用)</p> <p>②クロケー場 1,976㎡</p> <p>③テニスコート 2,043.90㎡ (早朝テニス、ジュニアソフトテニス、中学校・高校ソフトテニス部、一般市民利用)</p> <p>④野球場 13,349.25㎡ (高校野球部練習及び練習試合、マンダリンパイレーツ公式戦、軟式野球部、中学校新人体育大会等で利用)</p> <p>※野球場は別条例となっているが予算は本予算計上</p> <p>(運営管理)</p> <p>直営で管理しており、常勤の管理人配置なし。</p> <p>(利用料金)</p> <p>テニスコート:一般100円/2時間 学生50円/2時間 夜間照明200円/30分</p> <p>(利用状況)</p> <p>平成24年度・・・30,724人 平成25年度・・・28,286人</p> <p>【成果】</p> <p>今年度は、テニスコートの夜間照明修繕、野村球場内放送設備修繕、夜間照明ナトリウムランプ取り換え修繕、他6件の修繕を行い、施設の維持管理に努めた。</p> <p>運動公園全体(多目的グラウンド及びテニスコート)については「のむらスポーツクラブ」登録団体の利用により、市民の体力の向上と健康の増進に繋がっている。</p> <p>野球場は、野村高校野球部が専属球場として利用しており、施設の維持管理が行き届いている。</p> <p>【課題】</p> <p>各施設とも利用頻度が高く有効利用している反面、経年劣化による施設の修繕箇所が増加してきているので、計画的な維持修繕工事を図る必要がある。</p>						

事業名	城川総合運動公園管理運営事業		所管課	城川教育課			
			費目	体育施設費			
事業費	4,109	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
						277	3,832
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>城川町唯一の総合運動公園であり、自然公園、体育館、グラウンド（夜間照明付き）、テニスコート（一部夜間照明付き）、管理棟が整備されている。</p> <p>町あげでの「城川オリンピック」「オールドスターズ夢の球宴」をはじめ、ソフトボールリーグ、クロッケー大会、グラウンドゴルフ大会、小学校陸上記録会、ジュニア軟式野球、一般バレーボール練習、レクバレー練習などに広く利用されており、市民の健康維持、体力増進に大きく貢献している。スポーツを通じたコミュニティ推進にも寄与している。自然公園は、市民の憩いの場となっている。</p> <p>(利用状況)</p> <p>平成24年度・・・12,268人</p> <p>平成25年度・・・13,195人</p>						
	 <p>【成果】</p> <p>城川地区では、唯一の総合運動公園であり、市民の憩いの場として広く提供し、スポーツを通じたコミュニティの推進に寄与している。</p> <p>【課題】</p> <p>少子・高齢化の進行が著しく、スポーツ人口が減少している。今後、体育協会ともタイアップしながら施設の利用促進を図る。</p> <p>また遊具の老朽化が著しく、現在使用禁止としている。市民が安全・安心に利用するためには、遊具撤去又は整備が必要である。</p>						

○保健体育費の主な事業

平成25年度決算（単位：千円）

事業名	三瓶体育館管理運営事業			所管課	三瓶教育課		
				費目	体育施設費		
事業費	2,781	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
						226	2,555
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>スポーツの振興、住民の福祉増進と体力向上を図ることを目的に昭和57年3月に建設された。スポーツ・レクリエーションは、地域住民の健康や体力の保持増進に役立つだけでなく、住民相互の親睦交流を深め、豊かな地域社会を形成するものとして、重要な役割を担っている。その中心的な施設として三瓶体育館では、体育協会・三瓶スポーツクラブ等を中心とした活動が盛んに行われており、施設を有効に利用した維持管理をしている。今年度は、別途事業の地域経済基盤強化・雇用等対策事業において内裝修繕、アリーナ床修繕、音響施設の更新をおこなった。（事業費9,166千円）</p> <p>（利用状況）</p> <p>平成24年度・・・10,533人</p> <p>平成25年度・・・10,433人</p> <p>【成果】</p> <p>地域住民の健康や体力の保持増進に役立っている。また、住民相互の親睦交流を深め、豊かな地域社会を形成する施設としても、重要な役割を担っている</p> <p>【課題】</p> <p>三瓶体育館は、築30年以上経過しており、修繕箇所も多く、年々修繕箇所も増えている状況である。しかしながら、社会体育の中心施設であり、地域を支える避難防災施設ともなっているため、市民の要望にそった施設を提供できるよう努めることが重要である。</p>						

○保健体育費の主な事業

平成25年度決算(単位:千円)

事業名	乙亥会館管理運営事業			所管課	文化体育振興課		
				費目	体育施設費		
事業費	18,797	財源	国	県	地方債	その他	一般財源
						299	18,498
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>野村地区にある乙亥の里施設のうち、乙亥会館のアリーナ、相撲練習場、相撲資料室、1階研修室の管理の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間：8：30～22：00／休館日：木曜日 ・各施設の使用料は受益者負担。 ・施設の管理運営方法として、非常勤館長および嘱託職員3人の計4人により、市における各種大会の主要拠点である当館を管理している。 <p>(主な施設)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アリーナ ②相撲練習場 ③相撲資料室 ④1階研修室 <p>【成果】</p> <p>平成25年度は延べ23,314人の利用があり、健康増進、体力向上に役立っている。また施設の不具合箇所を修繕することにより、市内外の多くの方に、安全・安心に施設を利用していただくことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>建築後10年が経過し、屋根の塗装分については色落ちが目立ち始めている。また当館は平成29年のえひめ国体相撲競技の開催施設となっており、軽微な修繕を含めた改修等が必要である。</p>						

事業名	宇和学校給食センター運営事業			所管課	学校教育課		
				費目	給食センター運営費		
事業費	35,840	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							35,840
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>宇和地区の児童生徒を対象に、学校給食の提供を行うとともに給食センターの円滑な運営を行った。</p> <p>(宇和地区小学校児童数：平成25年5月1日現在)</p> <p>多田小60人・中川小112人・石城小85人・宇和町小502人 皆田小69人・明間小27人・田之筋小69人</p> <p>宇和地区小学校児童数 合計924人</p> <p>(宇和地区中学校生徒数：平成25年5月1日現在)</p> <p>宇和中学校446人 宇和地区小中学校児童生徒合計1,370人</p> <p>○実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇和学校給食センター職員：14人（正職員4人・嘱託職員等10人） （県栄養教諭含む） ・年間提供：276,563食 ・年間給食材料費額：70,438,943円 ・1食当り：255円（小学校245円・中学校275円） <p>【成果】</p> <p>宇和学校給食センターの管理運営を円滑に行い、安全・安心な給食の提供ができた。子どもたちの希望をとり入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週4回、パン1回の献立を実施し、地産地消にも配慮したおいしい給食提供ができた。</p> <p>【課題】</p> <p>児童生徒の健康面では、体格的にはほぼ全国平均で、健康診断でも特に問題はなく、今後も継続した予防教育や食育推進、体力づくりの推進が必要である。</p>						

事業名	三瓶学校給食センター運営事業			所管課	学校教育課		
				費目	給食センター運営費		
事業費	32,553	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							32,553
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>三瓶地区の児童生徒を対象に、学校給食の提供を行うとともに給食センターの円滑な運営を行った。</p> <p>(三瓶地区小学校児童数：平成25年5月1日現在)</p> <p>三瓶小175人・蔵貫小25人・二木生小58人・周木小15人</p> <p>三瓶地区小学校児童数合計273人</p> <p>(三瓶地区中学校生徒数：平成25年5月1日現在)</p> <p>三瓶中学校171人 三瓶地区小中学校児童生徒合計444人</p> <p>○実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三瓶学校給食センター職員：10人 (正職員1人・嘱託職員7人・臨時職員2人) ・年間提供：92,638食 ・年間給食材料費額23,265千円 ・1食当り251円(小学校240円・中学校270円) <p>【成果】</p> <p>三瓶学校給食センターの管理運営を円滑に行い、安全・安心な給食の提供ができた。地産地消の取組として、市の提唱する食育推進計画により、毎月第4金曜を、西予市地産地消の日と定め、食育を推進することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>児童生徒の健康面では、体格的にはほぼ全国平均で、健康診断でも特に問題はなく、今後も継続した予防教育や食育推進、体力づくりの推進が必要である。</p>						

○保健体育費の主な事業

平成25年度決算(単位：千円)

事業名	学校給食運営事業			所管課	学校教育課		
				費目	学校給食費		
事業費	97,822	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
						306	97,516
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>明浜・野村・城川の児童生徒を対象に学校給食の提供を行うとともに共同調理場・単独調理場の円滑な運営を行った。</p> <p>○明浜地区：明浜共同調理場（明浜中学校・俵津小学校・狩江小学校） 単独調理場（高山小学校、田之浜小学校）</p> <p>○野村地区：全小・中学校単独調理場（8施設）</p> <p>○城川地区：全小・中学校単独調理場（5施設）</p> <p>市内調理場16施設を円滑に運営し、安全・安心な学校給食を提供する。 毎月2回調理員の保菌検査を実施した。</p> <p>【成果】</p> <p>給食調理場の円滑な運営と安全な給食の提供を行うことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>地産地消をはじめ、給食調理場の円滑な運営と安全な学校給食の提供に努める。</p>						

事業名	愛媛国体相撲強化支援事業			所管課	文化体育振興課 国民体育大会準備室		
				費目	国民体育大会費		
事業費	400	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							400
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>えひめ国体に向けた西予市開催競技の強化を図るため、愛媛県国体強化指定校の野村高校相撲部を支援するとともに、野村高校相撲部支援協議会に補助金を交付する。</p> <p>(主な経費)</p> <p>西予市社会教育推進事業費補助金：400千円</p> <p>【成果】</p> <p>平成25年度は、団体で四国高校総体22年ぶりの準優勝となり4年連続入賞、全国高等学校相撲選抜大会では5位入賞を果たし、個人では全日本ジュニア体重量別相撲選手権大会において優勝者を輩出するなど確実に実績を残している。</p> <p>国体へは、3人の選手が出場しており、国体へ向けた強化は進んでいる。</p> <p>【課題】</p> <p>今後、国体へ向けた強化として優秀な部員の確保が必要となる。</p>						
	 <p>愛媛県国体強化指定校の野村高校相撲部</p>						

事業名	愛媛国体施設整備事業			所管課	文化体育振興課 国民体育大会準備室		
				費目	国民体育大会費		
事業費	58,543	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
			13,200	3,278	33,500		8,565
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】</p> <p>競技施設を国体開催基準に適合させ、無事に国体を開催するとともに、市民の施設利用の充足度を向上させるための事業。</p> <p>えひめ国体において西予市で2競技の開催が内定しており、その開催会場となる施設を国体開催基準に適合する施設として整備するために、測量設計を委託し実施した。</p> <p>【成果】</p> <p>ソフトボール競技会場となる西予市宇和運動公園及び御旅公園の施設整備に係る実施設計書を作成することができた。</p> <p>平成26年度から、この実施設計書を基に各施設の整備を実施していく。</p> <p>【課題】</p> <p>施設整備に係る財源確保が必要である。</p>						
	 <p>御旅公園内にある西予市営宇和球場</p>						
	 <p>西予市宇和運動公園多目的広場</p>						

○保健体育費の主な事業

平成25年度決算(単位：千円)

事業名	愛媛国体競技役員等養成事業			所管課	文化体育振興課 国民体育大会準備室		
				費目	国民体育大会費		
事業費	815	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源
							815
事業内容	<p>【事業内容・実施状況等】</p> <p>西予市で開催する種目の競技運営上必要不可欠である審判員及び記録員を市内で養成する必要があるため、市内競技団体へ養成を委託する事業。</p> <p>(主な経費)</p> <p>委託料815千円</p> <p>平成25年度も昨年同様、ソフトボール競技の審判員及び記録員養成を西予市ソフトボール協会へ、相撲競技の公認審判員養成を野村相撲クラブに委託し実施した。</p> <p>【成果】</p> <p>資格取得に必要な講習会等に参加してもらい、ソフトボール競技では審判員7人(第2種審判員7人)記録員15人(第1種記録員9人・第2種記録員5人・第3種記録員1人)計22人、相撲競技では公認審判員に必要な段位取得において、16人(4段取得者4人・3段取得者11人・2段取得者1人)2競技あわせて38人の資格取得者を得られた。</p> <p>【課題】</p> <p>資格取得後、各競技団体による国体で実務できる競技役員の育成が重要である。</p>						

7 教育費関係の実施事業の評価（西予市育英会奨学資金貸付特別会計）

西予市出身の優秀な学生又は生徒であって、経済的理由により就学困難な者に対し、学資を貸与し育英に努めた。

平成25年度決算(単位:千円)

事業名	西予市育英会奨学資金貸付事業			所管課	教育総務課																																					
				費目	育英会奨学資金貸付特別会計																																					
事業費	137,429	財源	国	県	特定財源	その他	一般財源																																			
							137,429																																			
事業内容	<p>【事業内容・実施状況】</p> <p>本市出身の優秀な学生又は生徒であって、経済的理由により就学困難な者に対し、学資を貸与し育英を図ることを目的とし、西予市育英会が存在する。育英会自体は、合併以前からそれぞれの旧町において存在していたが、貸付、償還共に金額や時期が異なっていたものを合併時に調整した。</p> <p>平成16年度申請者から、高等学校15,000円以内(月額)、それ以外の学校は35,000円以内(月額)、医学部については50,000円以内(月額)を四半期ごとに貸し付ける。また、奨学金の返還については、学校卒業後6ヶ月を経過した日から、7年以内に年賦又は半年賦で返還する。なお、平成15年度以前申請の学生に対しては、合併前の旧町の例による。</p> <p>○奨学資金貸付実績 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度末現在高 (未償還額)</th> <th>25年度貸付額</th> <th>25年度償還額</th> <th>25年度末現在高 (未償還額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明浜</td> <td>17,462,000</td> <td>1,935,000</td> <td>4,157,000</td> <td>15,240,000</td> </tr> <tr> <td>宇和</td> <td>61,239,000</td> <td>9,180,000</td> <td>15,060,000</td> <td>55,359,000</td> </tr> <tr> <td>野村</td> <td>51,603,000</td> <td>7,200,000</td> <td>10,738,000</td> <td>48,065,000</td> </tr> <tr> <td>城川</td> <td>43,710,000</td> <td>1,860,000</td> <td>9,534,000</td> <td>36,036,000</td> </tr> <tr> <td>三瓶</td> <td>46,381,400</td> <td>5,040,000</td> <td>8,165,000</td> <td>43,256,400</td> </tr> <tr> <td>西予市</td> <td>220,395,400</td> <td>25,215,000</td> <td>47,654,000</td> <td>197,956,400</td> </tr> </tbody> </table>								24年度末現在高 (未償還額)	25年度貸付額	25年度償還額	25年度末現在高 (未償還額)	明浜	17,462,000	1,935,000	4,157,000	15,240,000	宇和	61,239,000	9,180,000	15,060,000	55,359,000	野村	51,603,000	7,200,000	10,738,000	48,065,000	城川	43,710,000	1,860,000	9,534,000	36,036,000	三瓶	46,381,400	5,040,000	8,165,000	43,256,400	西予市	220,395,400	25,215,000	47,654,000	197,956,400
		24年度末現在高 (未償還額)	25年度貸付額	25年度償還額	25年度末現在高 (未償還額)																																					
	明浜	17,462,000	1,935,000	4,157,000	15,240,000																																					
	宇和	61,239,000	9,180,000	15,060,000	55,359,000																																					
	野村	51,603,000	7,200,000	10,738,000	48,065,000																																					
	城川	43,710,000	1,860,000	9,534,000	36,036,000																																					
	三瓶	46,381,400	5,040,000	8,165,000	43,256,400																																					
	西予市	220,395,400	25,215,000	47,654,000	197,956,400																																					
	<p>【成果】</p> <p>21人の新規申請者を含めて、平成25年度の貸付者数は大学37人、短・専18人、高校9人、医学部1人の計65人で、貸付総額は25,215,000円であった。また、償還者数は、延べ540人、償還総額は47,654,000円であった。</p>																																									
	<p>【課題】</p> <p>滞納者が少しずつ増加傾向にあるため、償還しやすい方法を相談したり、奨学生決定の際に、奨学金制度について十分な理解と、自覚を促すよう努めたりする必要がある。保証人への請求についても、今後検討し、行っていく必要がある。</p> <p>また、類似の奨学金制度の併用を認めていないこともあり、申請後に辞退するケースも増えており検討の必要がある。</p>																																									

II 学識経験者の意見（今後の取組の方向性）

平成25年度教育委員会事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価にあたって、客観性を確保するため、学識経験を有する下記の方々意見を聴いた。

氏名	役職名
大野 哲 寛	(元) 公立学校長
森 精 一	(元) 教育部長
大塚 晶 司	(元) 社会教育委員長

1 学識経験者の意見及び担当課における今後の取組の方向性

○学校教育支援体制の充実について

【学識経験者の意見】

情報教育振興事業について、情報教育アシスタントによる各教職員へのICT技術指導は大変効果があり評価できる。引き続き事業が継続されるよう努められたい。

生活支援員設置事業について、学校現場では障がいのある児童・生徒が増えている現状があり、その支援に対して支援員の配置がなされていることに評価できる。毎年、生活支援員の増員を求める声が多い状況であり、引き続き配置されるよう努められたい。また、学力向上のための学力（学習）支援員の配置についても配慮いただきたい。

教育支援については、多岐にわたり配慮がなされており、評価できる。今後とも、教育活動に必要な人的配置等、学習支援体制・英語教育・ICT活用など更なる充実に努められたい。

<今後の取組の方向性>

情報教育振興事業について、平成26年度現在は財政部局より情報教育アシスタントは不要との見解が示され、情報教育アシスタントとしての配置をしていないが、今後再配置できるよう協議検討します。

生活支援員については、児童のニーズの多様化により、保護者等からの配置希望は増加傾向にありますが、予算の範囲内において、西予市内の小学校で必要と認める学校に配置します。学力（学習）支援員については、今後の課題として検討します。

教育支援については、多岐の事業にわたりますが、児童生徒が安全安心して学校生活を送れるよう引き続き努めます。

○学校再編の推進について

【学識経験者の意見】

児童生徒がよりよい環境で教育を受けることが出来るよう推進されており、三瓶地区の統合が終了し評価できる。ほか地区で引き続き理解を深めていただくため保護者、地域住民、PTA等に充分、説明・協議に努められたい。

<今後の取組の方向性>

再編を推進するためには、保護者やPTAだけでなく、地域住民等からもご理解を得て

進めていかなければなりません。今後も、継続した説明や協議を重ね、行政内部の関係課とも十分な連携を図りながら、よりよい教育環境の整備を目指し、計画に沿った取組に努めていきます。

○学校施設の整備について

【学識経験者の意見】

統合に係る校舎建設について、建設事業を円滑に推進でき評価できる。

児童生徒が安心・安全に過ごせる学校施設となるよう、施設整備に努められたい。

<今後の取組の方向性>

学校統合時期にあった建設を進めており、バリアフリー化等児童生徒の安全を第一に考え、学校施設の建設事業を進めるとともに、教育施設の整備に努めます。

○教員住宅維持の取組について

【学識経験者の意見】

教職員住宅について、学校再編も進み教職員住宅再編計画に基づき大幅な修繕が必要な住宅、解体、市営住宅への転用等必要である。住宅数は減ってくると思われるが、適正な維持管理に努められたい。

<今後の取組の方向性>

教職員住宅は、平成21年度に策定された西予市教職員宿舍再編計画に基づき、解体及び市営住宅への転用を進めることとしております。学校再編も進んでいく中で、教職員住宅再編計画も見直しを実施し、適正な維持管理に努めます。

○給食業務について

【学識経験者の意見】

健康の源である学校給食の提供や、地産地消の日と定めた食育の推進に一定の評価ができる。今後とも学校給食の充実における使用食材の安全確保及び食育推進をはじめ、給食センター・給食調理場の円滑な運営と安全な学校給食の提供・施設の充実に一層努められたい。また、安全な給食を提供するため計画的に給食センター建設事業の推進に努められたい。

<今後の取組の方向性>

学校給食に地場産物を活用することは、地域の自然や環境、食文化、産業について理解を深めることにつながり、また、食に携わる人々や食べ物への感謝を抱くことができます。今後は、これまで以上に地場産物を活用した学校給食の提供に努め、西予市食育推進計画に基づき、各学校でも食育事業をより充実させる取り組みを行います。

平成21年4月から「学校給食衛生管理基準」が大幅に改正され、「食の安全・安心」に向けた更なる施設・設備類の対応が必要となり、学校給食をとりまく環境は大きく変化しております。

西予市における学校給食提供施設（共同調理場方式・単独調理場方式の2種）は、建設当時の学校給食法や建築基準法に基づき整備されたものであり、これまでの間、学校給食衛生管理の基準などの改正に伴い、施設整備の一部改修を行いながら調理過程の改善など

を図り、衛生管理の徹底に努め運営しています。

新たに整備する宇和学校給食センター及び野村学校給食センターにおいても、安心・安全でおいしい学校給食を提供していくという基本理念のもとに、食育の推進、衛生管理、地産地消などの機能を併せ持った施設として、計画的な建設に努めます。

○生涯学習の充実について

【学識経験者の意見】

現体制での学習機会の提供や団体活動支援等については、一定の評価ができる。市民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、今後も継続的な学習機会の提供や活動支援に努められたい。また、団体の自主運営を促し、自立した組織となるよう一層努められたい。

<今後の取組の方向性>

生涯学習の構築と魅力ある地域づくりを目指し、社会教育委員会に諮りながら生涯学習の充実を図るとともに市民の豊かなライフステージの支援を行い、地域リーダーの育成に取り組めます。学習機会のマンネリ化を脱却するとともに主体的に学習できる場と機会の拡充に努めます。

○結婚推進委員会の取組について

【学識経験者の意見】

結婚推進委員会の取組により、成婚実績が4組あった。26年度には、2組予定である。委員会の取組を評価できる。引き続き熱心な取組を期待したい。

<今後の取組の方向性>

53名の結婚推進委員は、結婚相談、情報交換会、年2回の婚活イベントを主な活動としています。それぞれが各地域で活動し、一つでも多くの成婚に結びつくよう取り組んでいます。これからも独身者への出会いの場を提供し、愛媛県が推進する「えひめ結婚支援センター」と連携を図りながら取り組めます。

○公民館事業の充実について

【学識経験者の意見】

各地域における社会教育・生涯学習の活動拠点であり、それぞれの特色ある取組を評価できる。地域ニーズにあった取組を推進するとともに、地域コミュニティ形成への積極的参画など、行政部局と連携して、住民と行政が協働して進める「地域づくり交付金事業」の活用や支援の充実を努められたい。小学校再編も進み、地域の活動拠点である公民館の活動の推進と充実を引き続き努められたい。

<今後の取組の方向性>

地域のよりどころである公民館は市民の活動拠点であり実生活に即した施設です。今後は小学校の統廃合が進み、更に地域ニーズにあった取組が必要となってきます。地域住民一人一人が生活や地域の課題に取り組む参画できるよう推進します。

○図書館の充実について

【学識経験者の意見】

読書活動の推進・図書利用カードの普及、利用時間の延長や独自事業の実施によって、利用率が高まっている。今後も市民の日常生活に役立ち、親しみやすく明るく頼りがいのある図書館となるよう、図書の充実や利用者サービスに努め、読書人口の増加に一層努められたい。

<今後の取組の方向性>

図書館は社会教育の機関であり、地域を支える情報の拠点であるため、市民の要望にあった資料の充実、利用サービスに努めます。平成26年度に野村分館が新築完成する予定であり、視聴覚資料の充実を図ることで、さらに利用者の増加も期待できます。今後は、郷土資料などの収集にも努めるとともに環境整備を推進して利用者の学習意欲を高め、長時間滞在型の図書館となるよう読書人口の増加に努めます。

○文化遺産の保存・活用について

【学識経験者の意見】

文化遺産の保存・活用、さらに文化財保護思想の普及・啓発について、今後とも後世に残す意味でも重要であることから引き続き努力されたい。

<今後の取組の方向性>

古代ロマンの里構想を軸とし、笠置峠古墳などの遺跡の活用、出土資料や調査成果の公開活用を住民との協働で進めます。また指定等文化財の再評価に伴う調査を進め、その成果を市民に還元するなど、文化財の保護・活用、文化財保護意識の普及啓発に取り組みます。

○スポーツ活動の推進について

【学識経験者の意見】

健康づくりと生涯スポーツの普及を目指して、積極的に推進していく必要がある。各種スポーツイベントを積極的に支援し、今後ともスポーツ活動の推進に努められたい。

市内社会体育施設の老朽化が目立っている。計画的な修繕に努められたい。

<今後の取組の方向性>

西予市体育協会、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、各種スポーツイベントの開催やスポーツ活動の支援に努めます。

また、社会体育施設については、公共施設等総合管理計画に基づき計画的な維持・管理に努めます。

○えひめ国体開催に向けた取組について

【学識経験者の意見】

女子ソフトボール競技会場の施設整備については、計画的な推進に努められたい。また、相撲競技では強化支援等がなされており評価できる。競技役員育成など引き続き支援に努められたい。

平成29年開催のえひめ国体は西予市挙げての取組となるため、市民と連携し万全の体

制で望んでいただきたい。

<今後の取組の方向性>

ソフトボール競技（成年女子）の施設整備につきましては、西予市宇和運動公園が平成28年2月、西予市宮宇和球場が平成28年6月の完成を目指して整備を進めます。

競技役員育成につきましては、国体競技運営上必要不可欠な事業となっておりますので、引き続き関係団体と連携して育成に努めます。

また、えひめ国体西予市開催に向けて、喜びと感動を共有できる魅力ある国体にするべく、市民総参加のもと関係機関・団体及び行政が緊密な連携を図りながら、大会運営に万全を期して望みます。

○特別会計事業の取組（育英会奨学資金貸付事業）について

【学識経験者の意見】

毎年度、貸付者が減少している現状がある。この制度は、西予市出身で家庭の経済的理由により就学が困難な者に対して奨学資金を貸付するもので、進学を希望する学生・生徒にとって有効な制度であるべきである。対象者にとって魅力的な制度となるように制度の見直しなど努められたい。

<今後の取組の方向性>

新規利用者減少の背景には、様々な要因があります。

日本経済は長引く不況により、労働分野では非正規雇用が拡大し、労働者の3分の1が非正規労働だとされています。またブラック企業の問題が広がっており、正規雇用に就いても仕事の安定性や賃金の保障がなされるとは限りません。このように、不安定・低賃金労働が拡大する中で返済への不安感から奨学金を借りることをあきらめる、いわゆる借り控えがあります。

また、西予市育英会の現行制度では、他の奨学金制度との併用を認めていないため、教育費にかかる家計の割合が年々増加する近年、少しでも借入額が多くかつ返済期間が長い他の制度で借入をする学生が多くなっており、それにより新規申し込み者の減少につながっています。しかしながら、安易な貸付額の増額や、他制度との併用を認めることは、非正規雇用が拡充する昨今の状況、また債権回収システムの違いに鑑みると、滞納額の増加に直結することとなり慎重に行わなければなりません。

このような実態を改善し、教育の機会均等の実現と西予市の発展を支える人材を育成するため、給付型奨学金の導入、償還期間の延長、入学一時金の導入など、制度内容の改善について検討します。

西予市教育委員会の点検・評価報告書（平成25年度対象）

【担当】西予市教育委員会教育総務課
〒797-8501 愛媛県西予市宇和町卯之町三丁目434番地1
TEL0894-62-6430